

スペイン カタルーニャ公開大学(UOC)

現状調査の報告

2019年10月



スペイン
カタルーニャ公開大学（UOC）
現状調査の報告

2019年10月

目 次

はじめに	1
第 1 部 スペイン王国、カタルーニャ自治州、およびカタルーニャ公開大学の背景	
1. スペイン王国について	5
2. カタルーニャ自治州の概要	8
3. カタルーニャ公開大学(UOC)の歴史	9
4. カタルーニャ公開大学学園(FUOC)の概要	9
第 2 部 カタルーニャ公開大学の概要・施設	
1. 大学の概要	13
2. 教育モデル	16
3. 財政状況	16
4. 人事関連	17
5. 施設	18
6. 研究とイノベーション	24
第 3 部 カタルーニャ公開大学の教育プログラムとコース	
1. 学部	27
2. 提供するプログラム	28
3. UOC X - Xtended Studies 生涯学習・職業訓練	32
4. UOC Corporate 企業向けの学習ソリューション	35
第 4 部 カタルーニャ公開大学の教育システム	
1. 入学の要件 Admission Requirements	39
2. 登録 Enrollment	44
3. 授業料 Tuition & Fees	45
4. 学習リソース (教材) Learning Resources	48
5. 単位 Credits	52
6. 学生サポート Student Support / Academic Service	54
7. 障がい者支援 Support for Students with Disabilities	54
8. 授業・教員の評価 Course / Tutor Evaluation	56
9. 学習評価 Assessments	56
10. 試験 Examinations	57
11. 卒業 Graduation	59

第5部 カタルーニャ公開大学への調査訪問

第1日目：2019年10月30日（水）

訪問先：カタルーニャ公開大学

チューセット（Tusetビル）および本部（Tibidabo大通り）…………… 63

第2日目：2019年10月31日（木）

訪問先：カタルーニャ公開大学 22@

1. カタルーニャ公開大学の概要 General Overview of UOC…………… 64

2. 学習チュータリングシステム

Learning Tutoring System (New Goals LIS Project)…………… 75

3. 質保証 Quality Assurance…………… 83

4. アカデミックサービス課の業務 Academic Services Description …… 91

5. iLearn（生涯学習の新しい総体的モデルに向けて）

iLearn: towards new holistic model for Lifelong Learning…………… 97

おわりに……………102

資料： ・放送大学調査団の訪問スケジュール……………105

・顔認識システムを活用した

オンライン最終評価試験の受験マニュアル（概要）……………106

・一般事項比較表……………109

はじめに

2019年現在、放送大学は世界の11の公開大学や遠隔教育を行う高等教育機関と協力交流協定を締結しており、スペイン王国カタルーニャ自治州のカタルーニャ公開大学（UOC）はその中の一つである。

UOCは、ICT活用と個々の学生に向けた教育モデルで、完全なオンラインでの遠隔教育を提供する高等教育機関として、カタルーニャ自治州政府のイニシアチブにより1994年に開学した。本学とUOCは、2014年7月に協力交流協定を締結することで関係基盤を築き、その後、共同研究の可能性を探る両学教員の交流が継続された。5年後の2019年には、協力交流協定の失効に伴う再締結のための交渉が行われた。

これに端を発し、2019年9月開催の放送大学2019年度国際シンポジウム「オンライン学習評価の方法～最新事例から学ぶ～」に、UOC コンピュータサイエンス・マルチメディア・電気通信学部の Ana Elena Guerrero Roldán 教授を招いた。同教授の講演では、EUの助成金による「TeSLA プロジェクト」が紹介された。このプロジェクトは、顔、音声、PCのタイピングパターンによる個人認識、および盗作発見ツール等により、学習者や受験者の本人確認を可能にする学習評価システムを開発し、教育機関へ提供することを目指すものである。

今回の調査訪問は、UOC コンピュータサイエンス・マルチメディア・電気通信学部と、本学情報コースの青木久美子教授、および総務課国際連携係の連絡・調整を経て実現したものである。本学からは青木教授に加え、同コースの森本容介准教授と総務課の神研二郎課長補佐が、バルセロナ市内にあるUOC拠点等を訪問調査した。

訪問した2日間で、大学全体の運営や学習システムに関して、主要部署の各担当者から情報提供を受けるとともに、活発な意見交換を行い、本学の諸問題の改善等に活かすための情報収集を行った。本年度中には協力交流協定の締結更新を完了する予定である。

今後は、オンライン授業に関連した両学の共同研究と共同開発や、ウェブカメラ等を使用した試験実施による障がい者支援に関する情報交換なども視野に入れ、教職員や教材の交流等が積極的かつ活発に行われていくことを心から期待する。

2020年3月1日

第 1 部

スペイン王国、カタルーニャ自治州、 および カタルーニャ公開大学の背景

第 1 部の内容は、政府機関等ウェブサイトの日本語情報、およびカタルーニャ自治州政府等のウェブサイトに記載された英語等の情報を、総務課国際連携係において日本語訳し要約したものである。

1. スペイン王国について

① 一般事情

情報：日本国外務省 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/data.html>

面積 50.6 万平方キロメートル
(日本の約 1.3 倍)

人口 約 4,693 万人 (2019 年 1 月) (うち約 485 万人が外国人)

首都 マドリード 約 327 万人 (2018 年 1 月)

言語 スペイン (カスティージャ) 語 (なお、スペイン憲法は、第 3 条において、各自治州の自治憲章の定めにより他の言語も当該自治州の公用語とすることを認めており、現在、バスク語 (バスク州、ナバーラ州北西部)、カタルーニャ語 (カタルーニャ州、バレアレス州)、ガリシア語 (ガリシア州)、バレンシア語 (バレンシア州)、アラン語 (カタルーニャ州) がそれぞれ公用語として認められている。)

宗教 憲法で信仰の自由が保障されている。



※ 「Wikipedia Commons CIA map of Spain」
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Spain_CIA_map.png を加工して作成

② 経済指標

情報：独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)

https://www.jetro.go.jp/world/europe/es/stat_01.html

	2016年	2017年	2018年
実質 GDP 成長率 (%)	3.17	2.98	2.53
名目 GDP 総額 (億ドル)	12,380	13,170	14,259
一人当たりの名目 GDP (ドル)	26,682	28,378	30,697
鉱工業生産指数伸び率 (%)	1.57	2.85	0.75
消費者物価上昇率 (%)	△0.20	1.96	1.68
失業率 (%)	19.65	17.23	15.26
輸出額 (億ドル)	2,900	3,195	3,452
対日輸出額 (億ドル)	26.62	27.58	29.83
輸入額 (億ドル)	3,109	3,520	3,880
対日輸入額 (億ドル)	32.31	35.82	38.91

③ 主な歴史

情報：スペイン観光公式サイト（スペイン政府観光局）

<https://www.spain.info/ja/informacion-practica/sobre-espana/cultura/historia.html>

BC10 世紀頃： フェニキア人が南スペインに入り現在のカディスを建設した。

BC6 世紀： ギリシャ人がアンブリアスを建設した。

BC3～2 世紀： カルタゴ人がカルタヘナに植民地を築いた。

BC3 世紀～AD1 世紀： ローマ帝国が長い歳月をかけイベリア半島を制圧した。

5～7 世紀： 西ゴート族が首都をトレドに王国を建国した。

8～15 世紀： アラブ人がイベリア半島の大部分を支配しイスラム化が進んだ。

1492 年、イサベルとフェルナンド・カトリック両王によってスペインが統一され、またコロンブスによる新大陸発見を契機に、スペインは繁栄の時代に入り、世界の海を制する大帝国になった。

1588 年、無敵艦隊が敗北した後、国力は急速に衰退していき、18 世紀にはブルボン王家の統政下に入り、1808 年にはナポレオン軍の侵入を受け、新大陸の植民地の全てを失った。

1936～1939 年のスペイン内戦を経て、フランコ政権による独裁が約 40 年間続いたが、その後フアン・カルロス 1 世が元首となり、議会君主制のもと民主化が進んだ。

④ 教育制度

情報：日本国外務省

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/05europe/infoC52300.html

教育担当行政機関の名称

Ministerio de Educación y Formación Profesional (教育・職業訓練省)

<https://www.educacionyfp.gob.es/portada.html>

教育の概要

学校制度	6・4・2・4 (医学部は6) 年制 (1992年に8・3・1・5年制から変更)
義務教育期間	10年間
年度(学期)	9月～6月(3学期制)
就学基準	年末までに満6歳になる者は、その年(9月)に義務教育の第1学年に入学する。

学校段階別教育の概況

就学前教育

0～3歳児対象の幼稚園と、3～6歳児対象の幼児学校の2段階に分かれる。

義務教育

初等教育(Educación Primaria)は、低学年(6～7歳)・中学年(8～9歳)・高学年(10～11歳)の3段階に分かれる。中等教育(Educación Secundaria Obligatoria=ESO)は、低学年(ESO7～8学年=12～13歳)・高学年(ESO 9～10学年=14～15歳)に分かれる。

一般的にはスペイン語で授業が行われるが、ガリシア、バスク、カタルーニャ、バレnciaなどの地方では、各地方言語(公用語)で授業が行われる。公立学校の授業料は無料であるが、教科書、制服、給食等の費用は各自が負担する。

義務教育以降

高等学校(Bachillerato:2年)または技術を習得する職業高校(Formación Profesional:通常2年)へ進むことができる。これには義務教育の修了資格証が必要となる。ESOから高等学校への進学率は約58パーセントだが、地域差が見られる。

高等学校を卒業後、Escuela Universitaria(ポローニャ宣言により4年制に移行した大学)やUniversidad(4年制大学、但し医学部は6年制)に入学を希望する者は、最終試験(La Evaluación Final)受験が必須となっている。

大学入学時には高等学校での成績の平均点を60%、La Evaluación Finalの点数を40%として指標とする。なお、法改正により各大学独自の入学システム導入が定められたが、La Evaluación Finalが今までの全国統一選考試験の代わりとなっている。

2. カタルーニャ自治州の概要

情報：カタルーニャ自治州政府貿易投資事務所

<http://www.invest-in-catalonia.com/index.html>

カタルーニャ自治州は、イベリア半島の北東部に位置し、地中海とピレネー山脈に挟まれている。GDP 規模は、フィンランドやポルトガル 1 国を上回り、南欧における経済活動の中心地である。地理的条件にも恵まれ、ユーロ圏市場、北アフリカ、中東へのアクセスが容易であり、また、同じスペイン語圏であるラテンアメリカ市場への足場となっている。

州都であるバルセロナ市の面積は約 102 km²、人口は約 160 万人である。近隣都市を含むバルセロナ経済圏 (Metropolitan Region of Barcelona) の人口は約 480 万人で、カタルーニャ自治州の工業生産の 6 割が集中している。

今から 1000 年以上前に国として確立していたカタルーニャは、独自の民族、文化、言語を有する。12 世紀には議会の成立、13 世紀には都市ごとの自治制度の確立を果たし、14 世紀には現在のカタルーニャ自治州政府 (ジェネラリタット) の原型も設立された。その後スペイン王位継承戦争での敗北に伴い、18 世紀以降は自治権を剥奪され、カタルーニャ語の使用も禁止された歴史もあるが、1979 年フランコ政権崩壊と共に自治権を回復した。

その後、カタルーニャ自治州は順調な成長を続け、現在、スペイン政府より教育、社会保障、交通、経済政策および商取引などの分野で権限を委譲されている。

面積	32,106 km ² (6.3%)
人口	745 万人 (16.0%)
GDP	2,236 億ユーロ (20.1%)
一人あたり GDP	28,997 ユーロ
工業 GDP	427 億ユーロ (23.8%)
外国直接投資 (FDI)	49 億ユーロ (20.7%)
輸出	652 億ユーロ (25.6%)
輸入	783 億ユーロ (28.7%)
州都	バルセロナ
言語	カタルーニャ語/カスティーリャ語
平均気温	17°C
降雨量	725mm

注) () 内はスペインに占める割合

データ出所：IDESCAT June 2017

3. カタルーニャ公開大学 (UOC) の歴史

情報 : <https://www.uoc.edu/portal/es/universitat/faqs/sobre-universitat/index.html>

UOC は、1994 年 10 月にカタルーニャ自治州政府のイニシアチブにより、ICT の活用と個々の学生のニーズに合った生涯学習を提供するために設立された。

1995/1996 年度に、教育心理学とビジネス研究の公認コースで、200 人の学生を受け入れた。その後 UOC は成長し、在学学生および卒業生を含む約 20 万人が UOC コミュニティを形成している。

UOC はこの数年間で、スペイン語と英語で学習するコースを追加するなど、提供コースを増やし多様化してきた。また、教育方法を改善し、学生中心の学習モデルを作成した。UOC はカタルーニャ自治州からスペイン全国に次々と拡大し、14 の地域センターと 40 の情報ポイントのネットワークを持つ。国際市場にも飛躍し、メキシコとコロンビアに事務所を開設しラテンアメリカへの拡大拠点とした。また、情報・知識社会、e ラーニング、e ヘルスに特化した 3 つの研究センターを開設した。

4. カタルーニャ公開大学学園 (FUOC) の概要

情報 : https://www.uoc.edu/estudiant/portal/guia/en/lauoc/estructura_organitzacio/fundacio/index.html

UOC の組織構造は、カタルーニャ公開大学学園 (Foundation for the Open University of Catalonia = FUOC) に基づいて構築されている。

FUOC は、遠隔大学教育を提供するために、カタルーニャ政府の支援を受けて 1994 年 10 月 6 日に発足した、民間、非営利財団であり、UOC の日常的な管理業務を担っている。主な目的は、カタルーニャ公開大学 (UOC) の創設と承認であるが、以下の役割も果たす。

- 大学の適切で効果的な管理を確保する。
- UOC が教育サービスの提供に際して、出生、人種、性別、宗教、意見、またはその他の個人的または社会的状況等を理由とする差別を行わずに、学習する権利を確保する。
- 質の高い教育サービスの提供を確保する。

FUOC は、カタルーニャ社会で存在感を持ち尊敬される評議員により構成される評議員会によって管理されている。評議員には、カタルーニャ政府、カタラン貯蓄銀行連盟、バルセロナ商工会議所、バルセロナ産業協会、カタルーニャ研究所の関係者が含まれる。

第 2 部

カタルーニャ公開大学の概要・施設

第 2 部の内容は、カタルーニャ公開大学のウェブページに記載されたカタルーニャ語、スペイン語、および英語情報を、総務課国際連携係において日本語訳し要約したもの、および訪問調査で得た情報である。

1. 大学の概要

情報： https://www.uoc.edu/estudiant/portal/guia/en/lauc/qui_som/

UOC は、オンラインの遠隔教育を提供する大学である。その使命は、人々に生涯学習の機会を提供することである。そのために、個人的場面、職業的場面にも適応する国際的に認定されたオンライン教育を展開している。



(UOC 戦略計画 2017-2020 より抜粋)

使命

UOC は、カタルーニャに根ざし世界に開かれた革新的な大学である。知識社会の研究を行うとともに、生涯学習を提供することにより、個人の成長、および社会の進歩に貢献している。その教育モデルは、オンライン学習 (e ラーニング) による個々の学生へ向けたサポートに基づいている。

ビジョン

UOC は、世界の大学とネットワークでつながることにより、知識社会におけるグローバルな知識空間の構築と最先端の研究を推進する大学を目指している。個々の学生に焦点を当てた独自の教育モデルをもとに、社会の発展に貢献できる人材を育成する質の高い学習を提供する。

価値 (バリュー)

- **コミットメント**：サービスの品質、および継続的な組織の改善を意識し、在学生、卒業生、社会に高品質のサービスを提供する。
- **尊重**：人、アイデア、文化、そして世界を尊重する。
- **透明性**：情報、データ、プロセスの透明性を図る。
- **プロフェッショナリズム**：組織に関わる人々に権限を与え、成功を認め、間違いから学ぶプロフェッショナリズムを持たせる。
- **持続可能性**：経済的、社会的、環境的に、組織が実施する活動の持続可能性を図る。

UOC の学生は、インターネット上のバーチャルキャンパスを使って、いつでもどこでも学習できる。バーチャルキャンパスのバーチャルクラスを通して、各コースのインストラクター、チューター、同級生とコミュニケーションを図り、学習活動、教材等にアクセスできる。つまり、バーチャルキャンパスは、大学コミュニティ全体の活動が行われる場所である。

UOC は、社会、経済、ビジネスの要求に基づいて、各人の人生におけるあらゆる場面に適応する個人的、および職業的な幅広いコースを提供している。これらのコースは、専門的、

および個人的なニーズに合わせて絶えず改善されている。

UOC が提供する学位（学士号、修士号、博士号）は公式であり、質保証機関によって認可され、ヨーロッパの大学システムの基準に従っている。これらの学位のいくつかは、他の大学と共同で提供されている。また、大学の公式学位の枠を超えた、短期職業コース、セミナー、言語コース、上級レベルの職業訓練は「UOC X」を通じて提供される。教育言語は、カタルーニャ語 66%とスペイン語 34%である。

UOC はカタルーニャ、およびスペインの公立大学システムの一部で、提供される学位は公式である。AQU カタルーニャ（州大学システムの質保証機関）、および品質評価と認定のための国家機関（ANECA）によって承認されている。AQU カタルーニャは、カタルーニャ自治州の高等教育システムにおける質の向上と評価の主要な手段であり、欧州高等教育品質保証協会（ENQA）の正会員である。

学位プログラムの評価は、AQU カタルーニャでこれまで使用されてきた、この種の教育の特性に適応した教育評価システムをモデルとして採用している。UOC は欧州高等教育圏（EHEA）のメンバーでもあり、そのプログラムはボローニャ宣言で提示された基準に適している。

在学生数（UOC アニュアルレポート 2017/2018 より抜粋）

	在学生数
学士課程（ディプロマ等含む）	37,158
修士・博士課程	18,215
現代言語センター・オープンコース等	7,634
合計	63,007

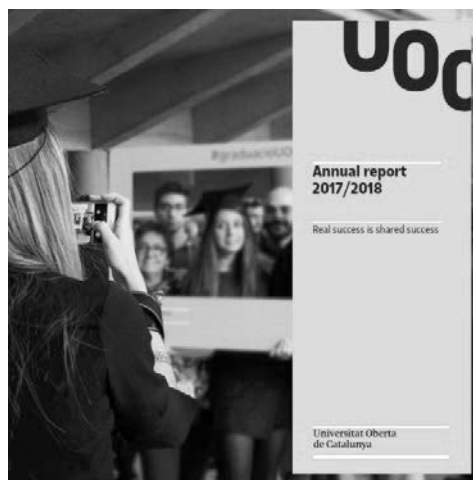
学部ごとの在籍学生数

学部	学士課程	修士課程
人文学部	2,597	1,017
情報コミュニケーション学部	3,323	887
健康科学部	-	1,898
法学部	6,225	2,532
経済学部	9,147	1,809
コンピュータサイエンス、マルチメディア、電気通信学部	5,797	2,737
心理・教育学部	10,069	5,284
合計	37,158	16,164

在学生の居住地は、カタルーニャ自治州が約 41,000 名（約 65%）、スペイン国他州が約 19,000 名（約 30%）、そして海外が約 3,000 名（約 5%）である。

卒業・修了生（2017/18年度）

学士課程	1,967
修士課程	4,479
博士課程	16

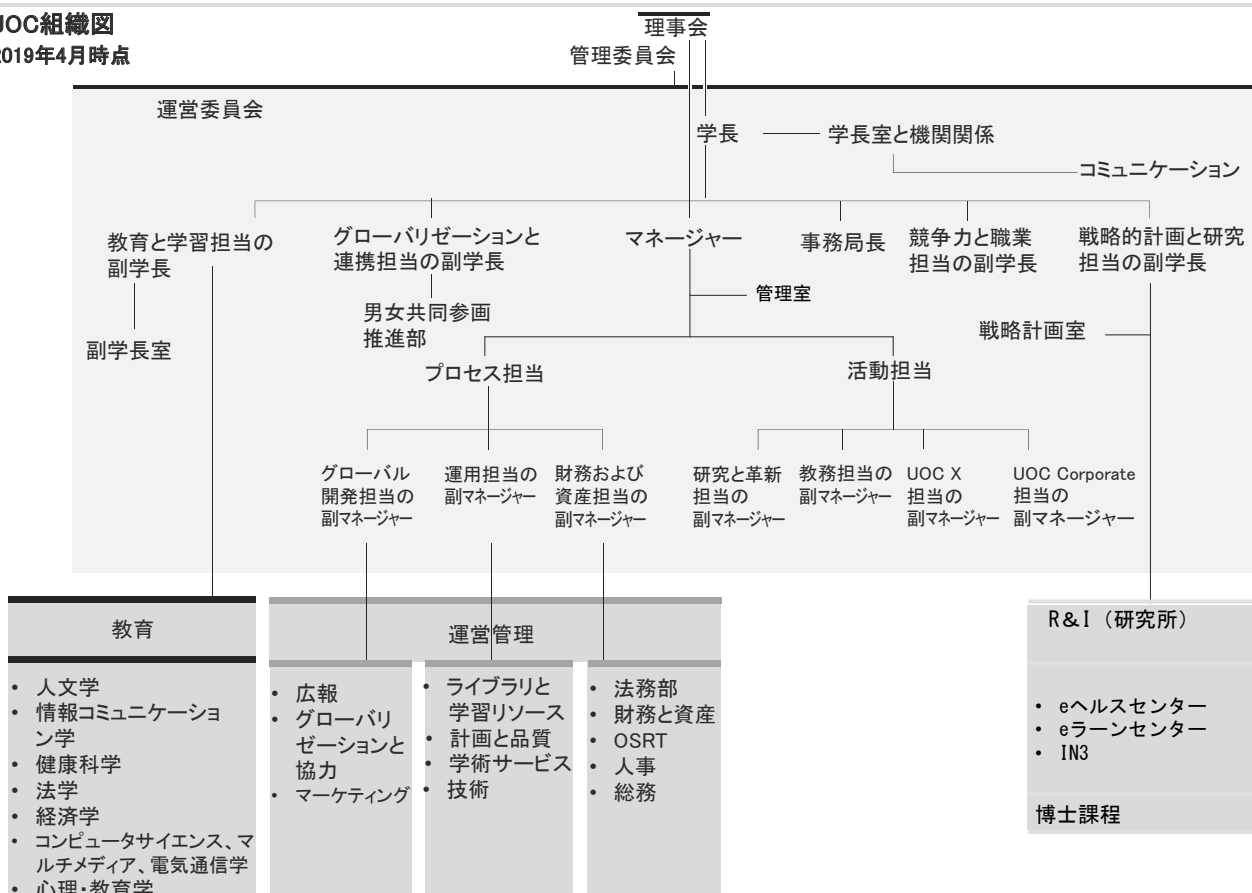


在学生の年齢構成（2017/18年度）

学生の年齢	18才～24才	25才～34才	35才～44才	45才以上
全体の割合	16.56%	40.09%	27.69%	15.67%

在学生の性別：男性 43.30% 女性 56.70%

UOC組織図
2019年4月時点



2. 教育モデル

情報： https://www.uoc.edu/estudiant/portal/guia/en/com_estudia/model_educatiu/

UOC の教育モデルは、開校以来、同学の特徴となっている。生涯学習者の教育ニーズを満たし、インターネットを活用した柔軟な学習環境を提供することを目標に考案された。

UOC 教育モデルの主な特徴

- 動的で柔軟：学生がインターネット上での仕事やコミュニケーションと同様の方法で学習に取り組めるように、継続的に適応、進化する。
- 学生と学習への焦点：様々な教材と、教育チームによる指導や同級生とのインタラクションを組み合わせた学習環境を中心にしている。
- 継続的で建設的な評価：評価活動は、学習目標の達成とスキルの開発を保証するのに役立つ。
- 共同学習：学習活動への参加と協働的な知識構築に焦点を当て、学生の個々の関与と他者との協働のバランスを追求する。
- メンタリング：学生は、教育プロセス全体の設計、ガイド、促進、評価を専門とする教員によって指導される。

バーチャルクラスへのアクセスを提供するバーチャルキャンパスは、これらすべてを組み合わせられて構築されている。UOC 教育モデルの中核である学習活動をサポートするために、教員によるメンタリング、ネットワーク上での他の学生との協働、ツールとリソースの3つを主要な構成要素としている。加えて、応用研究、イノベーション、新しいeラーニングのトレンドの取り入れにより、教育モデルを常に進化させている。

3. 財政状況

UOC アニュアルレポート(2017-2018)によると、2017年の収入総額は110,574,149ユーロ(約131億2000万円)であり、2016年から10.7%増加した。

2017年の主な収入(単位：千ユーロ)

入学金・授業料等 Enrollment	72,894 (89億6600万円)
プログラム助成金/補助金 Program Agreement: Current Grant	25,232 (31億400万円)
その他の収入 Other Revenues	6,173 (7億5900万円)
収入合計 Total Revenues	104,299 (128億2900万円)

(参考) 2018年の予算：約108,685千ユーロ(約133億6800万円)

2017年の主な収支（単位：千ユーロ）

変動する諸出費 Variable Expenses	29,363 (36億1200万円)
教職員の人件費 Structural Staff Costs	37,862 (46億5700万円)
その他の支出 Other Expenses	37,308 (45億8900万円)
合計 Total Expenses	104,533 (128億5800万円)

4. 人事関連

情報：<https://www.uoc.edu/portal/en/qualitat/personal-academic/>

UOCは、カタルーニャの社会的、文化的、経済的現実とのつながりを強化しながら、革新的で高質な教育、権威ある研究、生涯学習に対する社会的要求への迅速な対応に努めている。また、方法、リソース、学習ツールそして大学教員の役割において革新を続け、品質のベンチマークとなること、および大学システムを変革することを目指している。

学術スタッフにおいては、大学教育、および研究の分野における最高の専門家で構成されるチームを目指している。彼らは各専門分野のリーダーであると同時に、オンライン教育の専門家でもある。教員、研究員、コースインストラクター等で構成され、社会に貢献し、効果的な教育方法と学習方法を適用できる質の高い公開大学の確立を目的とした活動を実施している。

人事構成（UOC アニュアルレポート 2017/2018 より抜粋）

教員・研究員： 456名（教員290名、研究員166名）

事務職員： 558名

コースインストラクターおよびチューター（2017/18年度）

	男性	女性	合計
コースインストラクター	1,999	1,854	3,853
チューター	277	337	614
総計（合算した数字とはならない）			4,295

大学の教員ポリシーは、次の目標を達成することを目的としている。

- 学術の卓越性
- 価値の認識
- コンピテンシーの開発
- イノベーションへの焦点
- 多様性の尊重
- 才能の促進

5. 施設

① 教職員の事務所（バルセロナ市内、および周辺）

本部ビル: Avinguda Tibidabo 39-43, 08035 Barcelona

バルセロナ市街地北部の高台に建つ2つの建物に分散し、教学執行部、人文学部（現代言語センター含む）、経済学部、情報コミュニケーション学部の教職員が勤務する。大学の教員、研究員、および事務職員が働く事務所では、学生サービスは提供しない。



22@ビル: Rambla del Poblenou 156, 08018 Barcelona

開所時間：月～木曜日は 9 時～14 時・15 時～18 時 30 分、金曜日は 9 時～14 時

バルセロナ市街地のグロリアス再開発地域（服飾工場跡地）に位置し、公共交通機関へのアクセスも良く、周辺には宿泊施設、飲食店、ショッピングセンターが集まっている。

22@ビルは 4 階建てで、コンピュータサイエンス・マルチメディア・電気通信学部、健康科学部、心理・教育学部の教職員、および各事務部門の職員が勤務する。UOC は 22@ビルの南に隣接する建物（8 階建て）を購入済みで、数年後にはバルセロナ市内に拡散する教職員を集約し、大学機能強化を図る予定である。



カステルデフェルズビル: Parc Mediterrani de la Tecnologia (B3 Building),
Av. Carl Friedrich Gauss, 5, 08860 Castelldefels,
Barcelona

バルセロナ市郊外の他大学のキャンパス内に位置し、法学部の教職員、および研究申請のための職員が勤務する。また、研究所も拠点を置く。

チューセットビル: Moia, 1, 3rd. 08006 Barcelona

バルセロナ中心部に位置し、生涯学習、および企業サービス（トレーニング）部門の職員が勤務する。オフィスビルの3階のフロア全体に入居している。



図書館倉庫: Sabadell

バルセロナ近郊のサバデイ市に位置し、図書貸出業務を行う。

② スペイン国外の事務所

メキシコ事務所: P.º de la Reforma 265, piso 1, Col. Cuauthémoc 06500, Mexico City, Mexico

コロンビア事務所: Cra 7 # 73-47 of. 801, Bogota, Colombia

③ UOC 地域センター

情報 : <https://www.uoc.edu/portal/en/universitat/contacte-seus/>

UOC 地域センターが提供する学生サービス

- 教育モデルやコースについて情報提供しアドバイスする。
- 入学や学術的な質問に対して回答する。
- 公式の証明書等を発行する。
- 学生が図書館から借りた本の返却を受け付ける。
- 学生や卒業生間の交流をサポートする（会議室、学習スペース、コンピュータ、Wi-Fi が使用可）。
- 学術的ワークショップ、大学説明会、新入生の歓迎会等を開催する。

地域センターは、スペイン国内 12 か所、ラテンアメリカ 2 か所の広範囲なネットワークである。地域センターでは、コースに関する情報の提供、UOC コミュニティのためのオンサイトサービスの提供、知識伝達活動の組織化、そして地元のビジネスや機関とのつながりの推進を行っている。

UOC 地域センターの住所、および連絡メールアドレス (14 か所)

地域センター名	住所	E メール
バルセロナ	Rambla del Poblenou, 156, 08018 Barcelona	uocbarcelona@uoc.edu
リエイダ	Carrer de Canyeret, 12, 2nd fl., 25007 Lleida	uoclleida@uoc.edu
マドリッド	Plaza de Las Cortes, 4, 28014 Madrid	uocmadrid@uoc.edu
マンレザ	Avinguda de les Bases de Manresa, 1 (FUB2), 08242 Manresa	uocmanresa@uoc.edu
パルマ	Carrer d'Ausiàs March, 11, 07003 Palma	uocpalma@uoc.edu
レウス	Carrer de l'Escorxador, 1, 43202 Reus	uocreus@uoc.edu
サルト	Carrer Sant Antoni, 1, 1a. plant, 17190 Salt	uocsalt@uoc.edu
セビリヤ	Calle Torneo, 32, 41002 Seville	uocsevilla@uoc.edu
タラサ	Carrer de Colom, 114, 08222 Terrassa	uocterrassa@uoc.edu
トゥルトーザ	Carrer Alfara de Carles, 18, 43500 Tortosa	uoctortosa@uoc.edu
バレンシア	Carrer de la Pau, 3, 46003 Valencia	uocvalencia@uoc.edu
ヴィラ・レアル	Avinguda Pius XII, 43, 12540 Vila-real	uocvila_real@uoc.edu
メキシコ	Paseo de la Reforma, 265, 1st, Col. Cuauhtémoc, 06500 Mexico DF	uoclatam@uoc.edu
コロンビア	Cra 7 # 73-47 Oficina 801, 110221 Bogota	uoclatam@uoc.edu

④ UOC ポイント (学生サービス)

情報 : https://www.uoc.edu/opencms_portal2/opencms/ES/universitat/contacte-seus/onsom/punts/list.html

UOC と協働するスペイン国内外の組織 42か所に設置された UOC ポイントは、以下のサービスを学生に提供する。

- 学生が図書館から借りた本の返却を受け付ける。
- 会議や勉強のためにコンピュータや部屋を提供する。
- UOC が提供するコースに関する情報を提供する。

UOC ポイントの住所 (42 か所)

UOC Point of Alicante
ULab
Plaza de San Cristobal, 14
03002 Alicante

UOC Point of Ametlla de Mar
Telecenter L'Ametlla de Mar
Pau Casals, 74 low, 43860 Ametlla de Mar

UOC d'Amposta Point
Montsià County Council
Square Lluís Companys, s/n 43870 Amposta

UOC Point of Andorra
Virtuals Studies Center of the University of
Andorra
Plaça de la Germandat, 7
AD600 Sant Julià de Lòria

UOC Point of Badalona
Can Casacuberta Library
Calle Mossén Anton Romeu, 40 08912 Badalona

UOC Point of Badalona-Llefià
Library Llefià Badalona
Carrer Planeta Mart, 2-10 08914 Badalona

Punt UOC Point of Balaguer
Office Jove Noguera-Balaguer
Pintor Francesc Borràs, 17, 1st fl. (Edifici
Lapallavacara), 25600 Balaguer

UOC Point of Benicarló
City Council of Benicarló, Area of Culture
Hall Square s/n 12580 Benicarló

UOC Point of Berga
Popular Library Ramon Vinyes i Cluet
Plaza Europa 1, 08600 Berga

Point UOC Point of Bilbao
UNESCO Etxea - UNESCO Center of the Basque
Country
Isozaki Atea- Plaza de la Convivencia Paseo de
Uribitarte, 12, room 2, 48001 Bilbao

UOC Point of Ciutadella
House of Culture
Santa Magdalena Hospital, 1
07760 Ciutadella de Menorca

UOC Point of Donostia / San Sebastián
Impact Hub Donostia
Plaza de las Cigarreras, 1st, 3rd floor

UOC Point of Pont de Suert
Municipal Library of Pont de Suert
Carrer del Pont, 7 25520 Pont de Suert

UOC Point of Figueres
Regional office Joventut de l'Alt Empordà
Carrer Anicet de Pagès, 2 17600 Figueres

UOC Point of Gadesa
Telecentro of Terr @ alt @
Povet de la Plana, s/n 43780 Gadesa

UOC Point of Igualada
Central Library of Igualada
Plaza de Cal Font, s/n 08700 Igualada

UOC Point of La Bisbal d'Empordà
Baix Empordà District Council Economic
Promotion
Plaça Joan Carreras i Dagers, 4-5, low
17100 La Bisbal d'Empordà

Punto UOC de A Coruña
Hack a BOS
Avenida de Linares Rivas, 50, Baixo
15005 A Coruña

UOC Point of the Seu d'Urgell
CETAP - Business and Technology Center Upper
Pyrenees
Plaza de les Monges, 2, 3rd fl.
25700 La Seu d'Urgell

UOC Point of Las Palmas
Gabinete Literario
Plaza de Cairasco, 1
35002 Las Palmas de Gran Canaria

UOC Point of Manacor
University Center of Manacor (CUM)
Pare Andreu Fernández, 12 07500 Manacor

UOC Point of Martorell
Educational Complex Llops Torrent
Josep Tarradellas, 11 08760 Martorell

UOC Point of Masquefa
Masquef@ula - Community Technology Center
Avenida Caalunya, 58-62 08783 Masquefa

UOC Point of Mataró
Pompeu Fabra Library
Square Occitània, s/n 08302 Mataró

UOC Point of Montblanc
Concactiva, Daroca, 1 43400 Montblanc

UOC Point of Olot
Can Monsà
Fundació d'Estudios Superiors d'Olot
Carrer Joan Pere Fontanella, 3 17800 Olot

UOC Point of Palafrugell
Center Municipal d'Educació
Carrer Bruguerol, 12 17200 Palafrugell

UOC Point of Pineda de Mar
Innova Center
Street Torres Quevedo, 16 (Can Teixidor)
08397 Pineda de Mar

UOC Point of Puigcerdà
Plaza del Rec, 5 17520 Puigcerdà

UOC Point of Santa Bàrbara
Smartcentre
Mare de Deu de Montserrat, 28
43570 Santa Bàrbara

UOC Point of Santa Coloma de Farners
Center Municipal d'Educació
Carrer Sant Sebastià, 91
17430 Santa Coloma de Farners

UOC Point of Solsona
Library Carles Morató
Street Mirabalda, 6 25280 Solsona

UOC Point of Sort
Building Telecentro culd
Road Cabanera, 2 25560 Sort

UOC Point of Sueca
Swedish Municipal Library
Placeta dels Molins 9 46410 Sueca

UOC Point of Tàrraga
OME (Municipal Office of schooling)
Plaza Mayor, 1 25300 Tàrraga

UOC Point of Tenerife
Circle of Fine Arts of Tenerife
Calle del Castillo, 43
38003 Santa Cruz de Tenerife

UOC Point of Tremp
Barbal Maria Public Library
Plaça Catalunya, 6 1st fl., 25620 Tremp

UOC Point of Vallirana
Casal de Joves
Carrer Major, 612 08759 Vallirana

UOC Point of Valls
Consorti Pro Universitari Alt Camp-Conca de
Barberà
Jaume Huguet, 1 43800 Valls

UOC Point of Vigo
Impact Hub Vigo
Rúa de Santiago, 5 36202 Vigo, Pontevedra

UOC Point of Vilafranca
Servei d'Ocupació i Formació - La Fassina
Avenida Catalunya, 22
08720 Vilafranca del Penedès

UOC Point of Zaragoza
Impact Hub Zaragoza
José Pellicer Ossau Street, 9 50003 Zaragoza

6. 研究とイノベーション

情報：<https://research.uoc.edu/portal/ca/ri/index.html>

UOC は研究を実施する大学であり、e ラーニング、e ヘルス、知識社会、および 7 つの学部の専門分野に焦点を当てている。43 の研究グループ、400 人を超える研究者、そして博士課程があり、研究を促進するために、UOC は次の 3 つの研究センターを設立した。

① Internet Interdisciplinary Institute (IN3)

IN3 はインターネットの研究とデジタルテクノロジーと人間の活動との相互作用の影響に特化した研究をしている。学際的で多様な研究を行う 11 の研究グループを運営する一方、毎年客員教員と、UOC の博士課程に在籍している研究員を受け入れている。

② eLearn Center (eLC)

eLearn Center の目標は、教育機関自体の内部において、ユーザー、部・課または様々なプロセスから取得したデータを使用して、e ラーニングの応用研究を促進し、さらにイノベーションを促進し、教育の質の向上に貢献することである。学生に最高の学習体験を提供するため、また、この目標を達成する学術スタッフをサポートするために、多くの分野で機能している。その他サービスとしては、コースとプログラムの分析と再設計、テーマ別セッションの編成、学習リソースの研究と選択、教育を改善するためのデータの取得、現実環境での実験と試行の機会の提供がある。また、e ラーニングの最新動向の調査も行っている。

③ eHealth Center (eHC)

eHealth Center は世界に開かれた学術センターであり、その目標は技術の使用を通じて専門家や一般市民を教育し、力を与え、健康におけるパラダイムシフトをリードすることである。研究、教育、および指導を通じて、人々に焦点を当て、社会の進歩と幸福に貢献している。

第 3 部

カタルーニャ公開大学の 教育プログラムとコース

第 3 部の情報は、カタルーニャ公開大学のウェブページに記載されたカタルーニャ語、スペイン語、および英語情報を、総務課国際連携係において日本語訳し要約したもの、および訪問調査で得た情報である。

1. 学部

① 人文学部（現代言語センター）

この学部のプログラムは学際的であり、さまざまな科目（芸術、歴史、哲学、文学、社会科学など）を取り入れ、学生が現代社会と文化、方法論と分析、また、プロとしてのキャリアを積むために必要な情報の取り扱い・管理のスキルを確実に獲得できるようにする。また、現代言語センターでは、各語学コースを提供する。

② 経済学部

この学部は、グローバル社会の課題にコミットした、革新的な企業や組織に貢献できる専門家を育成する。

③ 健康科学部

この学部は、臨床診療、健康管理、研究のさまざまな側面を統合するプログラムを提供する。

④ 情報コミュニケーション学部

この学部は、情報社会における情報とコミュニケーションの分野で、生涯学習を学生に提供し、革新的な教育モデルとコンテンツを活用し、専門的、および社会的ニーズを満たす高質な教育を提供する。

⑤ コンピュータサイエンス、マルチメディア、電気通信学部

この学部は、最新のトレンドを意識した情報通信技術に関する高質なプログラムを提供することを目的としている。ICT への情熱を共有する教員、チューター、カウンセラー、学生、卒業生、管理スタッフの大きなコミュニティである。

⑥ 法学部

この学部は現在、公式の 4 プログラムと UOC 固有の 6 プログラムを提供し、8,794 人以上の学生が、630 人の教員のもとで学習している。

⑦ 心理・教育学部

この学部の使命は、心理学と教育の分野における知識の創造と普及を e ラーニングにより促進することである。プログラムは幅広く、常に専門的、および社会的ニーズに応えることを目指す。ICT とネットワークを駆使した教育方法により、学生の学習プロセスを支援し、空間と時間の障壁を取り除く。

2. 提供するプログラム

情報： https://www.uoc.edu/estudiant/portal/guia/en/proces_aprenentatge/tria_que_vols_estudiar/

UOC の提供するプログラムは、新しい分野の知識を取り入れながら継続的に更新・拡大され、人生の様々な段階においての学習ニーズに対処している。UOC のプログラムは、学士課程、修士課程、および博士課程に分かれ、その他 UOC 認定修士課程、および専門分野プログラムの提供、そして生涯学習として誰にでも開かれている UOC X コースがある。

UOC の学士号、修士号、および博士号は、スペイン教育省により承認され、欧州高等教育圏 (EHEA) の国々でも、各国の教育法によって公式学位として認定されている。またプログラムの質は、European Quality Assurance (EQA) で要求される基準の厳格さとコンプライアンスを保証する AQU カタルーニャ (州大学システムの質保証機関) によって承認されている。(以下のコースとプログラムは、2018/2019 年度の情報)

各種学位を取得できるプログラム等

- 学士課程 (25 プログラム)
- 修士課程 (48 プログラム)
- 博士課程 (4 プログラム)
- UOC 認定修士課程 (29 プログラム)
- 大学院ディプロマ・専門分野のプログラム (275 コース)

生涯学習・職業訓練のためのコース等 (Xtended Studies)

- 上級職業訓練 (Jesuïtes Educació とのコラボレーション) (10 コース)
- 継続的開発プログラム (短期の職業訓練コース) (146 コース)
- 職業的テーマのセミナーと講座 (155 コース)
- 語学コース (7 言語 57 コース)
- 無料の公開コース (227 コース)
- 大学入学準備コース
- MOOC (14 コース)

① 学士課程

情報： <https://estudios.uoc.edu/es/grados>

UOC の学士課程は、高質な授業と学問的厳格さを基に、学生に専門的なトレーニングの準備のための一般教育を提供する。4 年 (8 学期) における 240 ECTS (European Credit Transfer and Accumulation System = ヨーロッパ単位互換評価制度) 単位の

学修活動と継続的な学習を重視した、柔軟な大学教育を提供している。学士課程の学位プログラムは、基本科目、必修科目と選択科目、ならびに最終プロジェクト(卒業論文)、および企業や機関でのインターンシップで構成されている。(以下のコースは 2019 年 9～10 月開講)

芸術と人文科学

- 人類学と人間の進化
- 芸術
- 社会科学
- 歴史、地理、美術史
- 人文科学
- カタルーニャ語と文学
- 翻訳、通訳、および応用言語

健康科学

- Logopedia

コミュニケーションと情報

- コミュニケーション
- デジタルデザインと創造
- 情報とドキュメンテーション

法と政治学

- 犯罪学
- 権利
- 法務、および経営管理学における二重学位
- 管理行政
- 国際関係

デザイン、制作、そしてマルチメディア

- 芸術

- デジタルデザインと創造
- マルチメディア

経済とビジネス

- 経営管理
- 経営管理、および管理と観光の二重学位
- 経済
- マーケティングと市場調査
- 労働関係と雇用

IT、マルチメディア、電気通信

- 応用データ科学
- コンピュータ工学と管理、および経営管理のダブルディグリー
- コンピュータ工学
- 通信技術とサービスのエンジニアリング
- マルチメディア

心理学、および教育科学

- 社会教育
- 心理学

ツーリズム

- ツーリズム

なお、UOC は 2016/2017 年度に 3 年 (180 ECTS 単位) 課程を新設した。これは、ボローニャ計画の到来とともに以前の EHEA 学位とディプロマに代わるもので、スペイン国内の大学で実施される学士課程 4 年+修士課程 1 年モデルと共存する。

② 修士課程

情報 : <https://estudios.uoc.edu/es/masters-universitarios>

修士課程への出願には、専門の学士号または同等の学位を取得する必要がある。修士課程は専門的なトレーニングの提供または研究の促進を目的とし、60 ECTS 単位課程 (1年) から 120 ECTS 単位課程 (2年) の公認の学位プログラムである。(以下のコースは 2019 年 9~10 月開講)

芸術と人文科学

- 現代の課題に対する哲学
- 文化管理
- 人文科学: 現代アート、文学、文化
- 古代地中海
- 翻訳とテクノロジー
- 現代史と現在の世界

健康科学

- 身体活動とスポーツの食物
- 神経心理学
- 栄養と健康
- デジタルヘルス/eヘルス
- ソーシャルヘルスワーク
- バイオインフォマティクスとバイオ統計学

都市と都市主義

- 都市と都市主義

コミュニケーションと情報

- コーポレートコミュニケーション、プロトコル、およびイベント
- 広告における戦略と創造性
- 組織における情報と知識の戦略的管理
- ジャーナリズムとデジタルコミュニケーション: データと新しい物語

- ソーシャルメディア: 管理と戦略

法と政治学

- 擁護
- 行政と電子政府
- 政治分析
- サイバー犯罪
- 犯罪学、および刑事執行
- 人権、民主主義、およびグローバリゼーション
- 課税

デザイン、制作、そしてマルチメディア

- マルチメディアアプリケーション
- インタラクションデザインとユーザーエクスペリエンス
- ビデオゲームの設計とプログラミング

eラーニング[教育とICT]

- 教育とICT (eラーニング)

経済とビジネス

- 経済分析
- 財務管理
- 経営管理
- 人事管理、および管理
- 課税

- 組織における情報と知識の戦略的管理
- イノベーションとデジタル変換
- デジタルマーケティング
- 職業上のリスクの防止
- 企業の社会的責任
- 物流管理
- 組織における情報と知識の戦略的管理
- 計算、および数理工学
- コンピュータ工学
- 電気通信エンジニアリング
- 情報通信技術のセキュリティ
- コンピュータビジョン

エグゼクティブエデュケーション

- 企業のエグゼクティブディレクション (MBA)

IT、マルチメディア、電気通信

- マルチメディアアプリケーション
- バイオインフォマティクスとバイオ統計学
- データサイエンス
- モバイル機器用アプリケーションの開発
- ウェブサイトとアプリケーションの開発
- インタラクションデザインとユーザーエクスペリエンス
- ビデオゲームの設計とプログラミング

心理学、および教育科学

- 学習困難と言語障害
- 雇用と労働市場：労働分野における介入と指導
- 高等教育における質の評価と管理
- 中等教育と学士課程のための教員養成、職業訓練と語学教育
- 中等教育と学士課程のための教員養成、職業訓練と語学教育 - 数学専門
- 神経心理学
- 子供と青年の心理学：介入戦略とテクニック
- 心理教育

ツーリズム

- 持続可能な観光と ICT

③ 博士課程

情報：<https://estudios.uoc.edu/es/doctorado>

大学が授与できる最高レベルの博士号を取得するために必要なスキルを習得することにより、学術、科学、およびビジネスの分野における研究を促進することを目的としている。バイオインフォマティクス (Bioinformatics)、教育と ICT (e ラーニング)、情報と知識の社会、情報技術とネットワークと観光の分野で教育を提供している。(以下のコースは 2019 年 9～10 月開講)

研究、編入、起業のコース

- 学術プレゼンテーション（言語：英語）
- 研究者のための起業家精神
- アカデミックライティング
- 特許と知的財産の紹介
- 論文執筆者のための社会的スキル訓練プログラム
- 研究者のための責任ある研究と革新（言語：英語）

PhD プログラム

- ビジネス経営
- バイオインフォマティクス
- 教育と ICT（e ラーニング）
- 情報知識社会
- 情報ネットワーク技術
- ツーリズム（言語：英語、スペイン語、カタルーニャ語）

④ UOC 認定修士課程、大学院コース、および専門分野

オンライン大学院教育、および卒業生コミュニティにおける豊富な経験を持つ UOC は、新しい専門的スキルを習得させることを目的として、13 分野で 350 以上のプログラムを提供している。

UOC 認定修士号（前記の修士号とは異なる）と UOC 大学院コースは、職業上価値のある必要な知識を習得させることを目的としている。大学院の学位科目と専門分野で構成された修士号は、社会の最新動向を考慮に入れて構成され、UOC 修士号の取得には公式の学位は必須ではない。

3. UOC X - Xtended Studies 生涯学習・職業訓練

情報：<https://x.uoc.edu/que-vols-estudiar/>

UOC の使命に従い、生涯を通じて包括的な方法で大学研究を超えた教育を提供している。1995 年の UOC 設立以来、社会はさまざまな変化を遂げ、現在私たちは複雑な課題に直面する世界に住んでおり、グローバルで社会的な能力を持つ市民や専門家が必要である。

人々は人生を通して学び、私たちは多くの方法でそれが可能だと知っている。UOC は明確な目的を持った Xtended Studies を構成し、職業訓練と専門的分野について、大学教育を超えた各自の教育を提供している。

Xtended Studies トレーニングには、UOC 入学試験の準備コース（25 才以上対象）、語学コース、継続的な開発プログラム、または UOC とイエズス会教育のオンライン教育ト

レーニングプロジェクトとの協力体制がある。

① イエズス会教育(Jesuites Educació)のオンライン教育トレーニング

情報 : <https://fp.uoc.fje.edu/>

イエズス会教育は、プログラムの学術的な側面においてリーダーシップを持ち学位を直接提供している。UOC は、UOC X を通じて、プラットフォーム、技術ツール、方法論的支持を提供し、両機関の合意により、方法論（教育モデル、技術、サービス）で現状に甘んじない質の高い教育を提供する。

イエズス会教育は、人のあらゆる側面をカバーする教育を提供することを目的にした、イグナチアの財団であり、40 年以上にわたって専門的なトレーニングを提供し、経験、変革、革新はその存在意義の一部である。

イエズス会教育の主な目的は、意識的で、有能で、思いやりのある、献身的な人間になるための統合的形成を提供することで、恒久的な形成の過程で、より人道的で敏感な、共通の利益を求めるとより良い社会に貢献したいと考えている。

② 継続的開発プログラム（短期の職業訓練コース）

情報 : <https://x.uoc.edu/que-vols-estudiar/>

Xtended Studies の継続的開発プログラムは、職業上要求されるコンピテンシーを更新、拡大、および深化する可能性を提供する。これらの短い専門的なトレーニングコースにより、学生は特定科目のトレーニングを短時間で受けることができる。

③ セミナーと講座

情報 : <https://x.uoc.edu/que-vols-estudiar/seminaris/>

セミナーは関心のあるさまざまな分野で組織され、学習、余暇、および専門能力開発を組み合わせることを可能にする 1 か月のコースである。このオンライン講座は、文化や社会に関する知識の習得、特定の専門分野、および教育分野における知識の更新と深化、そして現在の問題との関連付けを確立することを目的としている。受講料金はセミナーにより変動し、およそ 140~198 ユーロ（約 17,200~24,350 円）である。

（参考）開講中のセミナーの一部

- 仕事で使う書くスキル
- 法的なカタルーニャ語入門
- ファイナンス情報の分析

- ビデオ教材の制作、利用、共有
- 株式市場での行動
- ストレスと感情の調節と管理

④ 一般市民への公開コース

情報： <https://estudis.uoc.edu/ca/que-son-assignatures-lliures>

UOC が提供する大学研究の科目は、UOC 入学要件を満たさない市民に対して公開されている。登録した学生は、他の UOC 学生と同じクラスで科目を無料で受講し、各学生に合った教育支援を受けられる。科目の開講期間は基本的に、2月～6月、および9月～1月となり、受講希望者はインターネットに接続した PC が必要となる。受講希望者は、UOC ウェブサイトから直接出願するか、各サポートセンターに連絡を取り、料金や授業内容等詳細な情報を得ることができる。

カタルーニャ語での授業が開始されると、バーチャルクラスにアクセスし、学生はそこから学習をサポートするのに必要なものを入手する。学習を促進する教材や授業に関連する図書館リソースへのアクセス、および他の学生や教員とのやり取りも可能である。

教員は、登録科目の学業成績を評価したり質問に回答したりする。UOC では学生一人で勉強することはなく、バーチャルキャンパス上で、40,000 人以上の学生がバーチャルフォーラムやバーチャルクラスを通じて交流し協力が行われる。コースの期末試験はカタルーニャ語、およびスペイン語で実施され、合格すると大学の修了証 (the university extension diploma of the UOC) が与えられる。

⑤ 語学コース

情報： <https://x.uoc.edu/que-vols-estudiar/cursos-idiomes/>

現代言語センター (CIM) は、100%オンラインでの言語学習を可能にしている。英語、フランス語、ドイツ語、中国語、日本語、カタルーニャ語、スペイン語を、いつでもどこでも学習できる。

幅広いオンライン語学コースがあり、英語、フランス語、ドイツ語、カタルーニャ語の場合は、学生の語学レベルに合った複数のコースが開講されている。特に英語に関しては、集中コース、半年コース、または世界に向けたプロフェッショナル英語コースを提供している。また、外国人向けのスペイン語コースなどもある。

日本語では、初級レベルの 5 コースが、スペイン語、およびカタルーニャ語で開講されている。これらのオンライン日本語コースは、国際交流基金の基準に基づき、ヨーロッパ共通参照枠 (CEFR) の基準に準拠している。また、準備コースでは日本語能力

試験 N5 の準備をする。

担当教員は、計 4 名で約 100 名の受講生に対応している。1 クラスの最大受講生数は 50 名で他科目よりも少ない。一般的な 100 時間の受講で 4 単位のコースの費用は 265 ユーロ（約 32,600 円）であり、日本語コースで取得した単位は、国際関係の学士課程において認められている。

完全なインターネット教育のため、学生に課されるリーディングやライティングの課題も、動画録画や音声録音データの提出としている。

⑥ 大学入学準備コース

情報：<https://x.uoc.edu/que-vols-estudiar/acces-a-la-universitat/>

大学入試のオンライン準備コースは、3 つの出願時期（3 月、6 月、10 月）で年間を通して開設される。6 か月～12 か月間のコースでは、受験のための情報、および資料と演習が提供される。この遠隔コースでは、特に 25 才以上または 45 歳以上の入学希望者に対して、目標達成のために様々な学習方法を教える。

⑦ MOOC

情報：<https://x.uoc.edu/que-vols-estudiar/mooc-2/>

UOC の大規模オンラインオープンコース (MOOC) は、誰でもアクセスできるオンライントレーニングコースである。この無料オンラインコースは受講期間は約 1 か月で、さまざまな分野の UOC トレーニングを提供している。

4. UOC Corporate 企業向けの学習ソリューション

情報：<https://corporate.uoc.edu/portal/es/corporate/>

UOC Corporate のミッションは、企業が直面するビジネス上の課題を克服するために、企業の専門家と共に成長することである。またそのビジョンは、専門家のための革新的な学習ソリューションに取り組んでいる企業のパートナーになることで、競争力を向上させるために、新しい製品とサービスを開発する手伝いをしている。

具体的な事業として、銀行、および保険セクターにおいては、企業の従業員の財務管理のトレーニングを支援し、その技術分野のプロジェクト管理とリーダーシップ能力を強化した。また、商業、およびマーケティングの分野で保険の専門家へのトレーニングを実施した。過去 3 年間で、80 以上の企業において 5,000 人以上の専門家を訓練した。

企業や機関が UOC のトレーニングを利用するためには、登録が必要で、生涯を通じて学

習と開発を促進できる。企業の登録の利点を享受するには、UOC とコラボレーション契約し、特定のプロモーションコードを持つ必要がある。

第4部

カタルーニャ公開大学の 教育システム

第4部の情報は、カタルーニャ公開大学のウェブページに記載されたカタルーニャ語、スペイン語、および英語情報を、総務課国際連携係において日本語訳し要約したもの、および訪問調査で得た情報である。

1. 入学の要件 Admission Requirements

情報 : <https://estudios.uoc.edu/es/requisitos-acceso>

① 学士課程 University Degrees

出願するには、以下のいずれかの試験を受験すること等が必要である。

大学入試試験 PAU (Prueba de Acceso a la Universidad)

スペインの高等学校は 16~18 歳の 2 年間で、芸術系、科学・技術系、人文・社会科学系の 3 系統がある。高校卒業資格 (Bachiller) を取得すると、大学等に進むことができる。大学進学には大学入学試験 (PAU) を受験する必要がある。PAU は、PAU 調整委員会がカタルーニャ大学間協議会の大学入学事務局を通じて実施する。

25 才以上の人向け UOC アクセステスト (UOC access tests)

アクセステストでの使用言語はスペイン語またはカタルーニャ語で、試験合格後はカタルーニャ州内の他の公立大学への出願も認められる。但し、スペイン語で実施の試験に合格しても、州内の他公立大学に出願することはできない。

受験要件

- テストが実施される暦年で 25 才以上である。
- PAU レベル以上を未受験である。
- 高度な技術専門トレーニング、造形芸術、およびデザイン、スポーツ (または同等) のタイトルを未所有である。
- 大学の学位を未取得である。

45 才以上の人向け UOC アクセステスト (UOC access tests)

アクセステストでの使用言語はカタルーニャ語のみ。

受験要件

- テストが実施される暦年で 45 才以上である。
- 大学への出願可能な資格を未所持である。

出願回数に制限はない。入学試験に合格し学生登録料を支払った後、再度出願することができる。25 才以上と 45 才以上のテストで出願したい候補者は、両試験に登録し料金を支払う必要がある。

提出すべき書類

- 手数料の割引または免除を正当化する文書（大家族またはひとり親家庭など）
（該当者のみ）
- 職業トレーニング（CFGS、FP2、MP3）の修了書
- 学部卒または同等の学位
- 実務経験の略歴

欧州連合内または国際協定に署名した国で取得した書類を使う場合の出願要件

- 大学入学前の調査：スペイン国立通信教育大学（UNED）認定書
- ボローニャ宣言導入前の大学での研究（完了または未完了）
- 欧州高等教育圏内の大学の学位、またはスペイン各州で大臣承認を受けた大学の学位
- 実務経験の略歴

ラテンアメリカまたは欧州連合非加盟国で取得した書類を使う場合の出願要件

- 大学入学前の研究：承認された学士号
- 大学での研究（完了または未完了）
- スペイン各州で大臣承認を受けた大学の学位
- 実務経験の略歴

（参考）25 才以上、および 45 才以上の人向けのアクセステスト

2019 年 4 月 27 日実施の場合

試験会場：カルロス三世大学・レガネスキャンパス

高等ポリテクニク校、マドリード

試験スケジュール

- 8：30～9：00 受験者情報の確認
- 9：00～10：30 小論文（text commentary）

2つの課題が提案され、うち1つを選択し小論文（150～200ワード）を作成する。評価基準としては、課題の正しい理解、文章の明確さと一貫性、使用用語、および文法、規範的修正が考慮される。多肢選択式（4択）の問題では、無解答の場合は減点されず、間違った解答は減点される。

- 11：00～12：45 2か国語の課題（スペイン語、および英語）

但し、45才以上の人向け UOC アクセステスト受験者は、スペイン語の課題のみが必須となり、また以下の課題は不要である。

- 13：30～16：30 特定試験（選択した科目に対応する2つの課題）

特定試験は、選択した専門分野に応じた2つの演習で構成される。

芸術と人文科学：	哲学、現代史、スペイン文学、地理学
科学：	生物学、物理学、数学、化学
健康科学：	生物学、物理学、数学、化学
社会科学と法科学：	現代史、数学、地理学
工学と建築：	物理学、数学、化学

試験結果（発表：2019年5月24日）

- 各試験は0点から10点のスコアで出される。
- 本試験の合格ラインは総合5点とする。
- 各試験のスコアはそれぞれ4点以上で合格とする。
- 45才以上の人向けアクセステストの受験者は、本試験以外に面接を受ける必要がある。

② 修士課程 University Masters

公式の修士課程に出願するには、大学の学位が必要。出願オプションに応じて、以下の必要な書類を確認すること。

スペイン国内の公式な大学で学位を取得した者

出願に必要な書類

- 身分証明書（出身国のID、パスポートまたは身分証明書）のコピー。
- 大学の公式学位認定書のコピー、または学位認定書を申請中である証明書。

欧州連合加盟国の大学で学位を取得した者

(1) 欧州高等教育圏（EHEA）に属する公式学位、大学の修士号または博士号取得者

出願に必要な書類

- 身分証明書（出身国のID、パスポートまたは身分証明書）のコピー。
- 大学の公式学位認定書のコピー、または学位認定書を申請中である証明書。公式学位がスペイン語、英語またはカタルーニャ語以外の場合は、認証翻訳を提出する必要がある。
- European Title Supplement (SET)のコピー。スペイン語、英語またはカタルーニャ語以外の場合は、認証翻訳を提出する必要がある。

(2) 欧州高等教育圏 (EHEA) に属さない大学の学士号取得者

出願に必要な書類

- 出身国またはパスポートの身分証明書のコピー。
- 大学の公式学位認定書のコピー、または学位認定書を申請中である証明書。公式学位がスペイン語、英語またはカタルーニャ語以外の場合は、認証翻訳を提出する必要がある。
- 大学発行の証明書のコピー。提示された学位は、学位が授与された国で修士または博士課程へ出願できることが証明されていること。

ラテンアメリカまたは欧州連合非加盟国の大学で学位を取得した者

ラテンアメリカまたは欧州連合以外の国で大学の学位を取得した場合は、次の中から該当する項目に応じて書類を提示する。

- スペイン教育省と同等機関の承認決議を伴わない大学の学位を取得している。
- スペイン教育省と同等機関の承認決議を伴う大学の学位を取得している。
- スペイン教育省の承認決議を受けた大学の学位を取得している。

③ 博士課程 **University Doctors**

情報 : <https://estudios.uoc.edu/es/doctorado>

学生は、一般的な要件と学部ごとに異なる要件を満たす必要がある。

一般的な要件

- 欧州高等教育圏 (EHEA) 内の高等教育機関が発行する公式の大学修士号を取得し、最低 300 ECTS 単位を取得している。
- 修士課程への入学を許可するスペインまたは EHEA 内の公式大学学位を保持し、うち修士課程レベルで 60 ECTS 単位を含む、最低 300 ECTS 単位を取得している。
- EU の法的規制に沿った、最低 300 ECTS 単位を取得している。
- EHEA 以外で取得した学位がスペイン教育省により非公認の場合、それがスペインの大学修士号と同等の教育レベルである必要がある。
- 大学卒業後、専門分野の公式教育プログラムにおいて、最低 2 年間の優秀成績評価を受けた。
- 過去の大学システムに従って、スペインの博士進学資格を取得している。
- 1998 年 4 月の英国法令 778/1998 の規定に従って授与される高等研究修了証書 (DEA) を取得している、または 1985 年 1 月の 185/1985 の英国法令で規制されている研究能力を取得している。

追加要件

英語を公用語としない国からの出願者は、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベル B2 と同等かそれ以上の認定が必要である。英語が公用語である国で学士号または修士号を取得した者は、上記認定の必要はない。UOC が準備した英語のオンラインテスト、また別の公式資格で英語の能力を示すこともできる。

助成金を申請する場合にも、B2 以上のレベルの認定が必要であり、また学術プロジェクトの説明も英語によるものとなり、選考プロセスで学術委員会によって考慮される。

これらの要件は、博士課程への入学を保証するものではなく、博士課程の出願のための提出書類として必要な条件である。

出願のための提出書類

- 身分証明書 (DNI、NIE)、またはパスポートのコピー。
- 学術的なキャリアの詳細、志望動機、関心のある研究分野と簡単な研究提案。
- 博士課程プロジェクトを支える研究者の承認の手紙。
- 関心のある研究分野に関連する履修科目、修士課程や科学的成果の説明。
- 最近発表されたカタルーニャ、スペイン語または英語の学術論文。
- (入学要件を満たす証明書が提出できない場合) 博士課程以前の学術的な証明書。
- (必要であれば) 博士課程で必要とされる英語能力テストの成績証明書。
- 候補者が入学要件を満たしていることを証明する文書。

④ 生涯学習言語コースの出願

公式な学位やディプロマの取得のない生涯学習のコース等は、特に出願条件はなく、以下のステップで受講に進むことができる。

(ステップ 1)

レベルテスト: 学習する言語の知識が既にある場合は、登録する前にレベルテストをオンラインで受けることが推薦される。

(ステップ 2)

登録と個人情報: ウェブページ上のフォームに個人データを入力し、登録期間中に送信する。

(ステップ 3)

バーチャルキャンパスへのアクセス: 登録が完了すると、バーチャルキャンパスへのアクセスコードが送付される。環境に慣れるためにアクセスすることが推薦され、コース開始日までは、バーチャルキャンパスのクラスがアクティブになる。

(ステップ 4)

支払い方法と各種割引: 登録の最後として、クレジットカードまたはデビットカードでの支払いが行われる。各種割引と奨学金について確認することが推薦される。

2. 登録 Enrollment

情報: <https://estudios.uoc.edu/es/matricula>

UOC では、1 年のうち 2 つの時期 (9 月、および 2 月コース開始) に登録できる。ニーズに最適なオプションを選択し、興味のある研究分野のページで、登録期間とコース開始時期を確認する。

入学願書を送付した後、UOC は登録する学生に対して、チューターへの連絡を勧めている。それは学生の申請書データにより、チューターがその学生の学術的等の背景をより知ることができ、コースの選択等での助言を可能とするためである。

入学手続きを完了する前に、チューターは必要に応じて個別の学生ガイダンスを提供する。なお、最終評価試験の日時は、正当な理由がある場合を除き重複は許可されないため、登録時に確認することが重要である。

登録プロセス

(ステップ 1) 出願を要求する

- UOC バーチャルキャンパスのためのユーザー名とパスワードを入手するための手順である。
- 出願要求する前に、そのプログラムに必要な要件を満たすことを確認する。
- 個人データと達成された研究のレベルを登録する。
- 提出書類等の詳細について、必要ならキャンパス事務局に相談する。

(ステップ 2) バーチャルキャンパスにアクセスする

- ユーザー名とパスワードが発行される。
- バーチャルキャンパスにアクセスし、学生の学歴、興味、時間に応じて、チューターから科目選択のアドバイスを受ける。
- その他、登録、授業料の支払い方法や割引の相談、奨学金、以前の研究の検証など、様々な学術事項を相談できる。

(ステップ 3) 登録提案を作成する

- バーチャルキャンパス上で、学期中に受講したい科目の登録提案を作成し、チューターがこれを分析し学生にアドバイスする。

(ステップ 4) 登録

- チューターは再度、学生の登録提案を検証する。授業料の支払い方法を選択する。割引を申請する場合は、指示に従い証明書等を提示する。
- 登録後、文書の送信に約 10 日間かかること、また学生には登録を取り消す権利が 14 日間あることに注意する。

3. 授業料 Tuition & Fees

大学の学位と修士号の場合、授業料等は登録する単位数、研究実績、または各種割引によって異なる。ウェブ上の情報リクエストフォームにより提出すると、UOC から授業料、割引、支払い方法、学生の保険等のアドバイスが提供される。

情報：<https://estudis.uoc.edu/ca/graus/ciencias-socials/pagament-beques-descompte>

① 学習に係る費用（授業料など）

カタルーニャ自治州政府は、UOC を含む州内の公立大学の授業料等を公定価格として設定している。

学士課程（一般的な学位取得の場合）の授業料等は以下の内訳である。

（公定価格）

授業料	20.42 ユーロ（1 単位あたり）
学習リソース料	12.50 ユーロ（1 単位あたり）

（その他の料金）

学生登録とファイル管理	54.54 ユーロ（ Semester あたり）
学習サポートサービス	86.70 ユーロ（ Semester あたり）
学生保険（28 歳以下）	1.12 ユーロ（1 年あたり）

これらの費用は、以下の割引の適用を受けるため、出願者の状況により変動する。なお計算上、学士号取得のための費用は、240ECTS 単位課程（4 年）で 10,116 ユーロ（約 125 万円）、180ECTS 単位課程（3 年）で 7,587 ユーロ（約 94 万円）となる。

修士課程（一般的な学位取得の場合）の授業料等は以下の内訳であり、60 ECTS 単位（1 年）プログラムで約 38.5 万円の費用となる。

（公定価格）

授業料	34.06 ユーロ（1 単位あたり）
学習リソース料	12.95 ユーロ（1 単位あたり）
科目認証料	5.10 ユーロ（1 単位あたり）

博士課程（一般的な学位取得の場合）においては、公定価格の授業料、および学習リソース料は修士課程と同様であるが、論文指導・継続的評価が 200.56 ユーロ（セメスターあたり）、ファイル管理費が 54.54 ユーロ（セメスターあたり）必要である。また、博士学位の申請費用は 215.18 ユーロ、論文関連費用は約 210 ユーロとなっている。

② 各種割引

情報：<https://estudios.uoc.edu/es/grados/economia/pago-becas-descuento>

グループ割引

登録前に書類を提出する必要があるが、不可能な場合は、授業開始から最大 15 暦日以内に提出すること。アンドラ公国の学生は、スペインの学生と同じ条件の下で免除の適用を受ける権利がある。

大家族割引

スペイン政府の制度により、収入や人数を基準に大家族としての恩恵を受ける学生は、カテゴリーに応じて割引を受けることができる。特別な大家族は授業料全額免除、一般的な大家族は授業料の 50%割引。

障がい者割引

スペイン政府が認める障がいの程度が 33%*以上の学生は、全額免除を受ける。また、他国政府によって認められた障がい学生は、学習、および学習支援サービスの価格の 15%割引を受けることができる。

*スペインでは障がいの程度は%で表記されることがあり、医師の意見に基づいて決定され、様々な社会サービスで採用されている。

テロ行為の犠牲者割引

スペイン政府によってテロ行為の犠牲者として認められた学生（その子供や配偶者を含む）は、授業料を全額免除される。また他国政府によってテロ行為の犠牲者として認定されている学生（その子供や配偶者を含む）は、15%割引を受けることができる。

性差別的暴力の犠牲者

スペイン政府によって夫婦間性差別的暴力の犠牲者として認められた学生（その子供を含む）は全額免除される。また、他国政府によって同様に性差別的暴力の犠牲者として認められた学生（その子供を含む）は、15%割引を受けることができる。

単位取得証明済み科目について

いかなる大学のセンターで行われた研究や活動による単位の証明、適合、または認定を取得した学生は、単位価格の 85%割引を受けることができる。

学士号での名誉または特別賞

高校で優等または特別な賞を受賞した学生は、最初の学年度中に全額免除を受ける権利がある。学士号の優等または特別賞の割引は、学生が大学に初めて入学するときのみ要求できる。

UOC 同窓会

UOC 同窓会会員は、UOC で公式の学士号、修士または博士号学位を取得している場合、10%割引が適用される。また同窓会プレミアム会員は 15%割引を受ける。

企業の割引

UOC との事前の合意に基づいて、専門家のトレーニングに参加しサポートする企業に割引を提供する。また、UOC とのコラボレーション契約を維持している企業または機関にリンクしている専門家は、UOC トレーニングプログラムの授業料割引を受けることができる。

競技アスリート

カタルーニャスポーツ連盟 (UFEC)、または Sant Cugat のハイパフォーマンスセンター (CAR) に所属している競争力のあるアスリートと見なされる学生は、授業料の割引を受ける権利がある。

早期登録割引

プログラムへの出願時期が早いほど、無料のバーチャルキャンパスへのアクセスも早く行え、自分のペースで疑問が解決できる。早期登録割引を利用する場合は、20% (プログラムによっては 10%) の割引が適用される。また、登録日に応じて登録料の支払いを最大 5 回に分割するオプションを選択できる。最初はオンライン登録時の 35%、残りは学期の初めから同額の分割払い。

- ・ 修士課程：最大 20 分割払い (最初の分割払い：20%)
- ・ 博士課程：最大 8 分割払い (最初の分割払い：30%)
- ・ 専門分野コース：最大 4 分割払い (最初の分割払い：40%)

③ 支払い

授業料の分割払いが設定でき、総登録料の 35%の初期費用は、オンラインクレジットカードで支払われ、残りは口座引き落とし（スペイン各州の居住者）、またはデビットカード（スペイン領外居住者）で最大 5 回の分割払いが可能。この支払い方法の管理手数料は 25 ユーロ（約 3,000 円）で、300 ユーロ（約 37,000 円）を超える授業料に対してのみ有効。POS 端末を介した金融機関のクレジットカードまたはデビットカードによる支払いは、登録時にキャンパスから直接アクセスする。

④ 追加料金

卒業生

過去に大学の公式学位を取得したか、取得する意思があった者（必要な全単位を取得したが学位を未申請）は、追加料金を支払う必要がある。学位の追加料金を伴う単位の価格は、公定価格に 1.4 を掛けて計算される。この追加料金は、最初の大学修士課程には適用されない。

2 回目以降の入学者

受講したコースが不合格で 2 回目の入学となる学生は、授業料が高くなる。この増加は、公定価格を 1.2 倍したものとなり、3 回目の入学の場合は公定価格に 2.6 を掛けた授業料となる。4 回目の登録では、価格に 3.6 が乗算される。

欧州連合外の国籍保持者

スペイン国に永住権を与えられていない欧州連合またはアンドラ以外の国籍の学生は、最終授業料が 50%増加する（オプションの支払いは除外）。

4. 学習リソース（教材） Learning Resources

情報： <http://openaccess.uoc.edu/webapps/o2/handle/10609/92866>

UOC の学習リソースはコンテンツとツールであり、UOC コミュニティを構成する者が使用可能である。それらは UOC による制作物、UOC が購読・購入するデジタル、マルチメディア、マルチフォーマットのリソース、または CEDRO や VEGAP 等の著作権管理団体による関連する権利の管理が必要なものであり、学習活動のために使用される。

学習リソースは、コース開講時に随時作成する新規、および既存のものがあり、その利用はオープンであったり、一時的に第三者に限定利用された後に再活用されたりするものがある。学習リソースには、ケーススタディ、ウェブサイト、記事、ソフトウェア、視聴覚資料、書籍などの形態がある。

教員は、学生が各コースに設定された能力を修得しコースを完了することを支援するた

め、UOC ライブラリを活用して最適と思われる学習リソースを選択する。ライブラリ、および学習リソースについては、学習のためのライブラリサービス (<http://biblioteca.uoc.edu/en/teaching>) を通じて、学習リソースの検索、選択、管理、公開、使用、ならびに評価を支援する一連のサービスや製品が提供されている。

学習リソースには、設計・制作の経緯に応じて、学習における特定の用途があり、コースコーディネーターは、学習活動の内容、タイミング、場面次第で、同一のリソースを異なる方法で使用する場合があります。

例えば、トピックの概要を紹介するマニュアルや教科書は、学士号初期の基本コースでの一般的な資料として有用だが、より高レベルの学生または修士課程の学生が、基本的な概念の見直し、または他分野のトピックを学習する際の参考資料としても使用可能である。

① 学習リソース (教材) ガイドライン

情報 : <http://openaccess.uoc.edu/webapps/o2/handle/10609/92866>

(UOC プログラム委員会により 2018 年 9 月 21 日承認)

UOC の学習リソースは下記項目を満たさなければならない。

- 利用可能、アクセス可能なもの
- デジタル環境向けのもの
- 信頼できる情報源に基づくもの
- プロフェッショナルな設定に適するもの
- 社会の多様性を代表するもの

留意すべき点

- スケジュールを守ること : 期限遵守は学習リソースを時間通りに準備するために不可欠である。
- UOC 図書館蔵書を利用すること : これは主な学習リソースである。
- 適切な手続きや手順を守ること : これにより学習リソースが適切に処理され、教室で利用できるようになる。
- 著作権が正しく処理されていることを確認すること : これにより、情報源を倫理的に活用できる。
- UOC が制作したリソースと外部リソースとのバランスを維持すること : すでに利用可能な UOC コンテンツは、図書館の購読、他の形式の権利管理、または公開されたリソースと同様に再利用できる。
- 学習のための作業量を考慮すること : 学生がリソースを適切に選択できるように単位数を念頭に置く。

② コース教材作成の概要

各コース教材の執筆は、コース責任者（コーディネーター）である教員が決め、場合によって自身が著者になることもある。教材のタイプによって異なるが、おおよそのスケジュールとして、9月～10月開始コースの教材は3月か4月末までに原稿を提出し、2月～3月開始コースの場合は9月か10月末までに提出する。教材の完成までには、コーディネーター教員、および著者が、基本的に2回ゲラ刷りチェックを行う。

教材の完成が学期の開始に間に合わない場合、特に新規開設コースでは教材が必要であることから、新学期が開始してから一課分ずつ完成させ授業に間に合わせることもある。

なお印刷教材は、以前は学生に郵送され、バーチャルクラス（ウェブページ）でPDFとして入手可能となっていたが、郵送は既に廃止された。教材選択と使用のガイドラインは、カタルーニャ語版のみ作成している。

（無料公開された教材）

<https://www.uoc.edu/portal/en/coneixement-obert/aprenentatge/recursos-aprenentatge/>

③ UOC 図書館サービスによる学習教材へのアクセス

情報： <http://biblioteca.uoc.edu/en/services>

図書貸出サービス

図書貸出サービスでは、UOC コミュニティを構成する全員が利用可能な、UOC 図書館、および他の図書館所有の図書等が借りられる。

UOC 図書貸出：UOC 図書館から書籍、DVD、電子書籍リーダー等の借りたい図書を探して予約する。予約時に選んだ受取場所から図書を受け取るが、自宅への配送も可能である。返却は50か所以上の場所にて、または宅配や書留便でも可能である。UOC 教職員については学内ポストでも返却できる。

コンソーシアムにおける貸出：カタルーニャ自治州内の各大学図書館から図書が借りられる。このサービスでは、カタルーニャ自治州大学図書館コンソーシアム（CSUC）の一部である図書館の蔵書9百万冊の中から好きなものを選べる。貸出、および返却方法はUOC 図書貸出と同様だが、その他にUOC カードの提示があれば図書を保管している図書館から直接借りられる。

図書館間貸出：カタルーニャ自治州内の大学図書館で調達出来ない図書等を、国内の他州、および国際機関から借りられる。貸出、および返却方法はUOC 図書貸出と同様で

あるが、貸出の期限が切れる前に更新が可能である。

図書購入依頼

教育、管理または研究活動に必要な図書（研究図書、推薦図書、教科書）の購入を申請できる。購入希望申請は、指定されたフォームを使用し、購入してほしい図書、または教育、管理、研究活動に必要な雑誌の購読が申請できる。UOC 図書館が申請を受領後、最大 2 営業日以内（UOC 設定の休日期間を除く）に連絡が入る。何か連絡事項があれば学生の UOC メールボックスに送信され、また必要な情報等の問い合わせに対応する。

図書目録サービス

学生の学術または研究活動に関連した図書検索（検索用語、情報源等を含む）についての個別ガイダンスを提供する。UOC の管理/教育/研究スタッフに対しては、照会に対する実際の検索結果に基づいて、調べられた検索用語や情報源、さらに得られたすべての関連結果を含んだ特別仕様のレポートの提供が可能である。

バーチャルクラスでの学習リソース

登録した科目の学習、および最終評価試験の合格に必要な全学習リソースにアクセスできる。これらには、UOC 学習リソース、各種記事、書籍の章、学習ガイド、法的文書、またはウェブリンクがある。また、図書館のアドバイスにより UOC 教職員が作成した「The Library Replies」「O2 institutional repository」などの学習サポートへのショートカットもある。

④ MDX (Learning Materials Online)

MDX とは、参加する大学で実施された教育活動の結果得られたデジタル資料とリソースを含む共同リポジトリである。MDX の目的は、参加している教育機関で作られた教材を広報し活用を図ることで、教育革新、および知識への自由なアクセスに貢献することである。

- 大学が作成した教材を整理し共通サーバーに統合することで、管理を容易にする。
- 参加大学の教員が教材を保存したり、取り出したりできるリソースサーバーを提供する。
- 会員組織の教育生産物への永続的、簡単、迅速なアクセスをユーザーに提供する。
- ネットアドレスや、参考・引用文献、2次データ等から得られた文献や資料に付加価値を付与する。
- 教材の有用性を確保するために、保存メカニズムを確立する。
- 電子フォーマットの教材発行と編集を奨励する。

MDX リポジトリは、マサチューセッツ工科大学 (MIT) とヒューレットパッカード社によって作成されたプログラムであるフリーソフトウェア DSpace と連携している。MDX は、参加大学である Consorci de Serveis Universitaris de Catalunya (CSUC) のプロジェクトとしてカタルーニャ自治州政府の支援を受け、Open Archives Initiative (OAI) の相互運用性プロトコルを使用し、他の国際リポジトリと共同で提供される。

5. 単位 Credits

情報 : <https://www.uoc.edu/portal/en/qualitat/qualitat-titulacions/estructura-ensenyaments/>

① 学士課程

UOC は、学生に大学の資格と専門的なキャリア準備に向けて複数分野の一般的トレーニングを提供する。学位取得には 180~240 ECTS 単位が必要となる。

UOC の学士号は、次の知識分野のいずれかに関連する。

- ・芸術と人文科学
- ・科学
- ・健康科学
- ・法と社会科学
- ・エンジニアリングと建築

240ECTS 単位の学士課程の場合、研究プログラムには基本カリキュラム 60ECTS 単位が含まれ、そのうち少なくとも 36ECTS 単位はプログラムの知識の分野の科目にリンクしている。すべての学士号には、6~30 ECTS 単位の最終プロジェクトも含まれる。

180ECTS 単位の学士課程の場合、研究プログラムには基本カリキュラム 45ECTS 単位が含まれ、そのうち少なくとも 27ECTS 単位はプログラムの知識の分野の科目にリンクしている。この場合、最終プロジェクトは 6~23 ECTS 単位になる。

学士課程	240 ECTS 単位プログラム	180 ECTS 単位プログラム
基本的なカリキュラム	60 ECTS 単位	45 ECTS 単位
	プログラムの分野に関連する 少なくとも 36 ECTS 単位	プログラムの分野に関連する 少なくとも 27 ECTS 単位
	同じ分野または他の分野から 24 ECTS 単位	同じ分野または他の分野から 18 ECTS 単位
必修科目とオプション科目	180 ECTS 単位	135 ECTS 単位
外部インターンシップ	最大 60 ECTS 単位	最大 60 ECTS 単位
最終プロジェクト	6~30 ECTS 単位	6~23 ECTS 単位

情報 : https://www.uoc.edu/estudiant/portal/guia/en/proces_aprenentatge/posa_en_practica_el_que_has_apres/

カリキュラムインターンシップ : 学士号または修士号の一部で必修または任意コースに相当する。学生は、在籍するプログラムで、職業に焦点を当てたインターンシップのオプションがあるかを確認する。インターンシップは、企業や機関、スペイン国内外で実施することができ、現地でもオンラインでも、あるいはその組み合わせでも可能である。

インターンシップの申請プロセスは、コースによって異なる。インターンシップが割り当てられると、通常の登録期間中に、手続き/登録で対応するコースに登録することができる。期間はコースの単位によって決まる。

UOC インターンシップ制度に参加する企業は、登録制でリスト化されているが、学生自身が、非カリキュラムインターンシップを探して提案することも可能。さらに、UOC は非カリキュラムインターンシップの協力先リストでは、学生受け入れ要件を示している。

② 修士課程

修士課程の目的は、高度な専門家や、学術的または専門分野向けに設計されたトレーニングを学生に提供する、または学生を研究に導くことである。

修士号の取得単位はプログラムによって異なり、最低 60 ECTS 単位を取得する 1 年間のプログラムから最大 120 ECTS 単位が必要なプログラムがある。大学の修士号には専門分野を含めることができ、学生が受け取る証明書に記載される。これらは、60 ECTS 単位の修士号に対して少なくとも 9 ECTS 単位を要し、120 ECTS 単位の修士号に対して最大 45 ECTS 単位を含められる。

修士課程	プログラム		
	60 ECTS 単位	90 ECTS 単位	120 ECTS 単位
必修科目	15 ECTS 単位	22 ECTS 単位	30 ECTS 単位
オプション科目	-	-	-
外部インターンシップ	最大 60 ECTS 単位 (ある場合)		
最終プロジェクト	6~30 ECTS 単位		

③ 博士課程

博士課程の目的は、学生に研究技術の高度なトレーニングを提供すること。これらには、研究トレーニングを目的としたコース、セミナー、またはその他の活動が含まれる場合がある。その目的は、博士論文の形式でのオリジナルの研究成果の発表とプレゼンテーションである。

2011年1月28日の王立政令 99/2011の規定に従って、博士課程はプログラムへの入学から博士論文の提出まで、フルタイムで3年間、パートタイムで5年間の最大期間を有する。

6. 学生サポート Student Support / Academic Service

UOCの学生サポートのほとんどは、バーチャルキャンパス、およびバーチャルクラスを通じて提供される。本部にあるアカデミックサービス課は（内容によっては他課や教員と協力）、在学生に対して以下のサービスを提供している。

【→業務内容の詳細は 91 ページ参照】

- UOCの制度上の情報提供（掲示板、およびeメールによる）
- コースの選択等に関するチューターからのアドバイス
- 受講コースのインストラクターとの学術的なやり取り
- インターンシップの相談、および実施への調整
- 障がい学生への学習、受験、各種料金割引等へのサポート
- 在学生、および卒業生への就職相談
- コースインストラクター向けトレーニング実施によるサポート体制の向上

メンター制度

UOCの学生は、教育プロセス全体の設計、学習に関するガイドや評価等に関して、専門のメンターにより継続的に指導される。メンターによる指導は、教育活動そのものを超え、学生は、在学年度中に起こる、各者とのコミュニケーション、教員への質問やフォローアップにおいてサポートを受け、個々の学生向けにアレンジされた学生サービスにアクセスできる。

7. 障がい者支援 Support for Students with Disabilities

情報：http://cv.uoc.edu/estudiant/mes-uoc/en/universitat/diversitat_funcional/

UOCの使命は、学習意欲のある人に生涯学習を提供することであり、障がい者に対しても大学へのアクセス促進を図っている。平等な学習機会を提供するため、障がいのある学生のニーズに応える措置が追加される。また、障がいレベルが33%以上の公式学位で在籍す

る学生は、UOC 入学金等の割引を受ける権利がある。

① 特別な教育支援の提供

- 学習ペースを調整する。
- 口頭での課題を書面に置き換える。(言語コース)
- 学習リソースへのアクセスを可能にする。

また卒業式や地域センターでの活動などを組織する際に、大学コミュニティのメンバーへ必要な特別配慮を行う。イベントに登録する際には、障がい者用駐車場、手話通訳、特別な傾斜路（ランプ）等をリクエストできる。

② 最終評価試験

情報：<http://cv.uoc.edu/estudiant/tramits/en/avaluacio/discapacitat/>

適切なアクセス確保、または試験センターでコンピュータを使用するための承認などをリクエストすることができる。UOC には、障がいや特別なニーズのある場合に、最終評価試験を調整するオプションが用意されていて、適用を求めるには、受験前にリクエストを行い以下のオプションを選択できる。

- 傾斜路（ランプ）と昇降機（リフト）を備えた建物
- 簡単に出入りできる大きな教室と車椅子に適したデスク
- 大判テキストの問題用紙
- PC と特定のソフトウェア（Jaws や ZoomText など）の使用
- 個室または少人数での受験

これらのオプションが有効でない場合は、UOC が相談に乗り解決策を見つけることになっている。前学期にリクエストした場合は、再度リクエストの必要があるが、証明書等の提出は不要である。

③ サポート教材へのアクセス

コース教材や資料へのアクセスをできるだけ容易にするため、大学ではさまざまな形式で提供している。もしアクセスが困難な場合は、ヘルプサービスまたはチューターに相談することができる。

ONCE (Spanish Association for the Blind) のメンバーである場合、資料を点字に転写するよう依頼できる。転写には 3~4 か月かかる場合があることから、ONCE に事前にリクエストし、コース資料をチューターから送信してもらう必要がある。

④ インターンシップとキャリアガイダンス

情報： http://cv.uoc.edu/estudiant/tramits/en/beques/erasmus_discapitat/

障がいのある学生向けのインターンシップに関する特定の情報は、障がいのある学生向けの手続き/助成金/エラスムス+プログラムモビリティ助成金に記載されている。さらに、障がいのある学生へ職業指導と職業紹介を行うために、UOC は以下の組織と協定を結んでいる。

- **Fundación Prevent** は、障がいのある学生に職業カウンセリングを提供する。興味がある場合は、財団に直接連絡し UOC の学生である旨を伝える。
- **Fundación Universia** は、就職プログラムである **Programa Empleo** を通じて、障がいのある人に特化した無料の求人サービスやカウンセリングを提供する。これらのサービスはすべて、求人やインターンシップの申し出とともに、そのウェブサイトで見つけることができる。

8. 授業・教員の評価 **Course / Tutor Evaluation**

各科目を受講した学生に対して、UOC 本部から評価アンケートがメール送信される。アンケートの内容は、教員、教材、および試験についての設問で、回答結果は担当課で収集し、各科目の専任教員（科目のコーディネータ役）に提供される。専任教員は、各科目の関係教員（チュータ等）に情報提供し科目の改善等に役立てる仕組みとなっている。

9. 学習評価 **Assessments**

情報： https://www.uoc.edu/estudiant/portal/guia/en/com_estudia/avaluacio/

UOC の学習モデルは、学生個々の学習、集合的な知識の構築、および教員による指導を通じて、学生のスキル向上を継続的に促進することを目的としている。学習プロセスについて学び、フィードバックを提供するためのメカニズムとして考案されたため、継続的かつ形成的であり、建設的なフィードバックを提供して、学習プロセスを継続的に改善することができる。

受講者はシラバスに示される数のテストを受験し提出する必要がある。各学期の初め、各コースに継続的な評価テストの情報が掲示され、受講者は各コースの決められた日に提出する必要がある。各継続小テストは採点され、また学期末の最終評価試験の採点も受ける。

UOC の評価モデルは、学習目標と能力開発の達成に貢献するようになっている。継続的な評価には、複数の継続小テストに合格する必要がある。

評価モデル

- 複数の継続小テスト
- 複数の継続小テスト+最終評価試験（会場で1時間筆記）
- 最終評価試験（会場で2時間筆記）

すべてのコースに適用される統一評価モデルはなく、継続小テストの評価のみによって合格できるコースと、継続評価が最終評価試験結果によって補完されるコースがある。最終評価試験には2つのタイプがあり、継続的評価と組み合わせるものと、最終評価試験が100%の評価となるものに分かれる。

10. 試験 Examinations

情報：http://cv.uoc.edu/estudiant/acollida/en/grau/pindoles/full_personal.html

ほとんどの学士課程、および修士課程のプログラムには、最終評価試験が含まれていて、大学が受験日時を提案する。

UOC はスペイン全土に約 20 の最終評価試験会場を提供し、学生は便利な会場を選択できる。ほとんどの科目では、平日に1回と週末に2回、計3回の試験を提供する。したがって、学生の状況に応じて受験日を選択し、複数の科目に登録している場合は、スケジュールの競合を防ぐことができる。

最終評価試験にはさまざまな評価形式があり、学生は受講しているコースの計画で、どのタイプの評価が使用されるのかを確認する。なお、最終評価試験の受験日選択は学期の中期に始まり、個人の最終評価試験フォームには、提案された試験スケジュールが表示され、必要に応じて変更が可能である。

情報：http://cv.uoc.edu/UOC/microsites/avaluacio_20172/index_en.html

（参考）2018年第1セメスターの場合

実施日：6月9日（土）、16日（土）、20日（水）

開始時間：9:00、10:30、12:00、13:30、15:30、17:00、18:30、20:00（計8回）

情報：http://cv.uoc.edu/UOC/microsites/avaluacio/index_en.html

① 試験会場での受験

試験の前に

- 試験センターの住所と、個人の試験スケジュールを確認する。
- スケジュールを携帯電話で表示するか印刷して、どの教室に行く必要があるかを確認する。
- 疑問がある場合は、試験センターのインフォメーションデスクに連絡するか、リ

ストを参照する。

解答用紙を受け取ったら

- 登録したコースのバーコードが含まれていることを確認する。同じ解答用紙が異なるコースで使用される場合がある。
- 学生個人バーコードを、提供されたスペースの最初のページに貼り付ける。
- シラバスで規定されている資料、および筆記用具、時計のみを卓上に置くことができる。携帯電話や電子機器（タブレットやラップトップ）の持ち込みは、シラバスで規定された場合のみ可能である。
- 言語コースを除き、2つの公用語（カタルーニャ語またはスペイン語）のいずれかで解答できる。
- 指定スペースに手書きで解答を書くこともある。会場でメモ用紙をリクエストできるが、使用した用紙は解答用紙の回収と同時に渡す必要があり、メモ用紙は採点には考慮されない。

解答用紙の提出

- 身分証明書（パスポートまたは運転免許証）を提示する必要がある。

② オンライン試験の受験

オンライン最終評価試験を受ける海外在住の学生（80か国に約3,400人）は、顔認識に基づく本人確認システムを利用する。このシステムでは、受験中に学生側のウェブカメラがランダムに画像を送信し、受験者が本人であることを証明する。

受験前にウェブカメラで3枚の写真を撮り、本人証明できる文書を送信する。この登録をしないと、オンライン試験を受験できない。オンライン試験を受けるための申請が行われた後、登録は一度だけ行われる。その時、学生に対して受け入れの通知とともにインストラクションが送信される。

オンライン試験の受験のための条件

- コースの要件を遵守していることを確認し、疑問がある場合はコースインストラクターに問い合わせる。
- 海外に居住しているか、特別な配慮を必要とする。
- 期限までに UOC に申請し承認を受けている。

試験の前に

- 海外居住か、特別な配慮の必要性を証明する書類と身分証明書を送付する。
- UOC のウェブ上で学生情報を更新する。

- 受験する場所を準備し、ウェブカメラの動作確認をする。
- コース担当教員の判断で、学生がオンラインでバーチャル最終評価試験を口頭で受けるようにできる。その場合は、事前にメールで通知され、オンラインビデオ会議システムのアカウント、マイク、ウェブカメラの準備が必要。
- オンライン試験を受けるためのマニュアルを読んで理解する。

試験の受験日時

- 受験の時間は、各学生の居住国の時間ではなく、スペイン本土の時間とする。口頭バーチャル最終評価試験を行う場合は、コース担当教員が日時を調整する。

試験当日

- 受験中に疑問や質問がある場合は、UOC が電話で対応する。受験中または受験後に、UOC から学生に連絡する場合がある。もし 3 回試みて学生と連絡がつかない場合は「不在」として扱われる。

【→オンライン最終評価試験の受験マニュアルは 106 ページ参照】

11. 卒業 Graduation

情報： https://www.uoc.edu/estudiant/portal/guia/en/proces_aprenentatge/despres/

UOC の卒業生のネットワークでは、100 か国の 67,000 人以上の卒業生が 2 万人以上の企業関係者とつながっている。その使命は、UOC の卒業生に生涯学習と継続的な専門的成長を意識させることである。

UOC は卒業生の就職活動のために現在のキャリア状況に適応して、各ステップでの指導と個別の指導を提供する。履歴書の書き方、ソーシャルメディアで履歴書を管理する方法、就職の面接を処理する方法、またはキャリアに焦点を合わせる方法についてのアドバイスを行う。卒業生のキャリアに役立つ情報を答える専門家に質問を送ることも可能である。

第5部

カタルーニャ公開大学への調査訪問

調査・報告者： 放送大学

情報コース

〃

総務部総務課

青木 久美子 教授

森本 容介 准教授

神 研二郎 課長補佐

調査期間： 2019年10月30日（水）～31日（木）

第1日目：2019年10月30日（水）

訪問先：カタルーニャ公開大学

チューセット（Tusetビル）および本部（Tibidabo大通り）

① チューセット（Tuset）

バルセロナ市街地の商業地域に位置するチューセットを訪問した。チューセットという名のビルの3階に入居し、生涯学習、および企業サービス（職業訓練）部門の職員が勤務している。交通アクセスは良く、周辺には企業等が立ち並び、顧客に向けた営業活動等には適した場所と思われた。



② 本部（Tibidabo大通り）

バルセロナ市街地北部の丘陵地の中腹にある UOC 本部を訪問した。学長等の教学執行部がオフィスを構える歴史的な趣の3階建ての建物と、通りを挟んで隣接する人文学部（現代言語センター含む）、経済学部、情報コミュニケーション学部の教職員が勤務する建物に分かれている。

現代言語センターにおいて日本語科目を担当している大槻岳子教授を訪問し、スペイン、そしてカタルーニャ自治州における UOC 全体の現状、および日本語科目を例とした UOC の学習システムと教員の役割について話を伺った。

【→日本語科目の概要は34ページ】



第2日目：2019年10月31日（木）

訪問先：カタルーニャ公開大学 22@

1. カタルーニャ公開大学の概要 General Overview of UOC

対応者：Prof. Daniel Riera コンピュータサイエンス、マルチメディア、電気通信学部長、
および Prof. Anna Guerrero コンピュータサイエンス、マルチメディア、電気通信学部

プレゼンテーション概要

始めに、地元の伝統的な祭りである Human Tower を例に、若い世代から年配までが一緒に人間の塔を築くことが、UOC の求めるイメージと類似していることが説明された。（スライド4）

続いて、UOC 設立の 1994 年当時の予算構図が、25%の公的資金と 75%の学費等（利益）であったこと、また Private Management Model (Non Profit)の概念について説明された。UOC の提供する教育の質について、カタルーニャ自治州の Quality Assurance Agency 等に認証される必要があったため、学士課程の開講まで 5 年程かかったとのことである。

UOC の学生評価の仕組みについて（スライド6）と共に、学期末に対面で実施する最終評価試験について、バーチャルキャンパスのウェブページをスクリーンに映しながら説明された。継続的な課題提出等による、学期を通した継続的な評価方法を重視する傾向があるとのことである。

カタルーニャ語の使用が過去には 75%を占めていたが、カタルーニャ自治州以外のスペイン語を話す学生が増加傾向にあり、スペイン語の使用が増加していること、また英語は少数であることが紹介された。他に、スペインを代表する国立公開大学で授業料の低いスペイン国立通信教育大学（UNED）や、職業訓練に特化したコースを多く開講する学費の高いマドリッド公開大学（UDIMA）との学費比較等について説明された。（スライド7）

公開されている Facts & Figures では、2,470 ものバーチャルクラスが実際に活動中であるほか、様々な関連データが紹介された。続いて、バーチャルクラスの教員チーム対制、給与や雇用形態についても紹介された。また、教員がコーディネーター、コースインストラクター、チューターに分類され、それぞれが役割分担してコースを成立させ、学生対応している構図をもとにその仕組みが説明された（スライド12）。最後に、バーチャルキャンパスの全体的な使用についてログインから説明された。



The teaching and learning process at UOC

Ana Elena Guerrero (UOC)
aguerreror@uoc.edu
Associate professor at Computer Science depart. UOC

November 2019
Visit OUJ -UOC

Content

1. How UOC was developed and the reasoning behind it.
2. The educational model.
3. UOC VLE & Learning activities, resources and e-assessment.

How UOC was developed & the reasoning behind it

Human tower: pillar



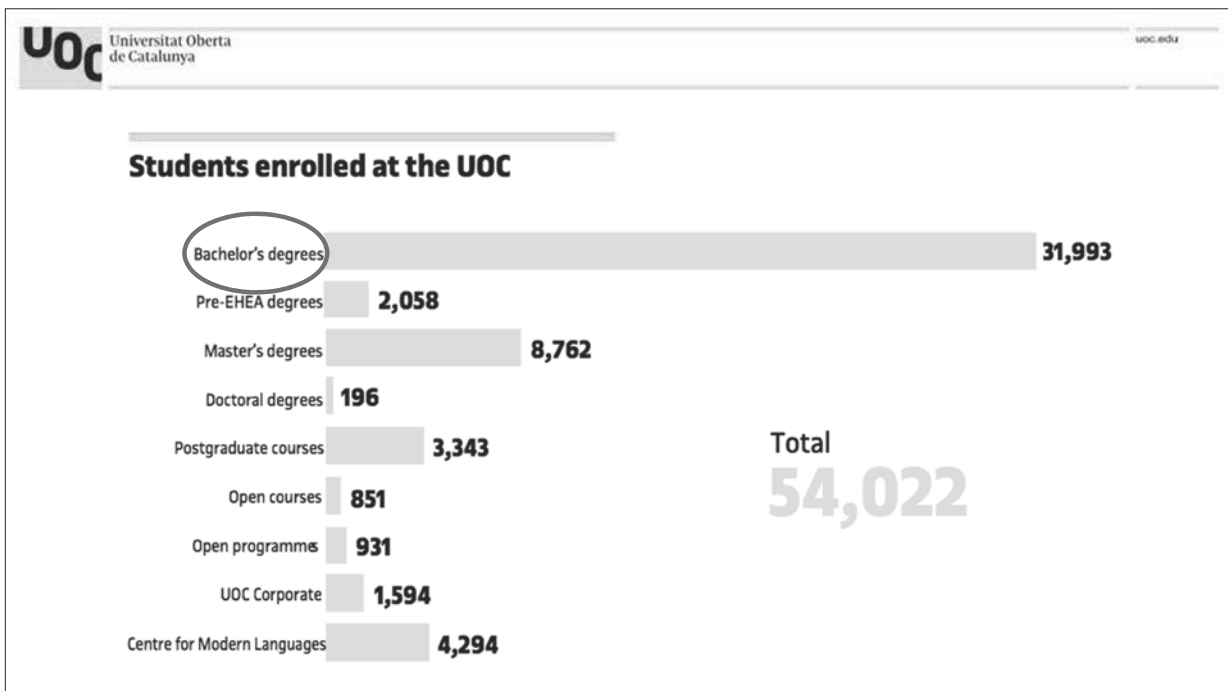
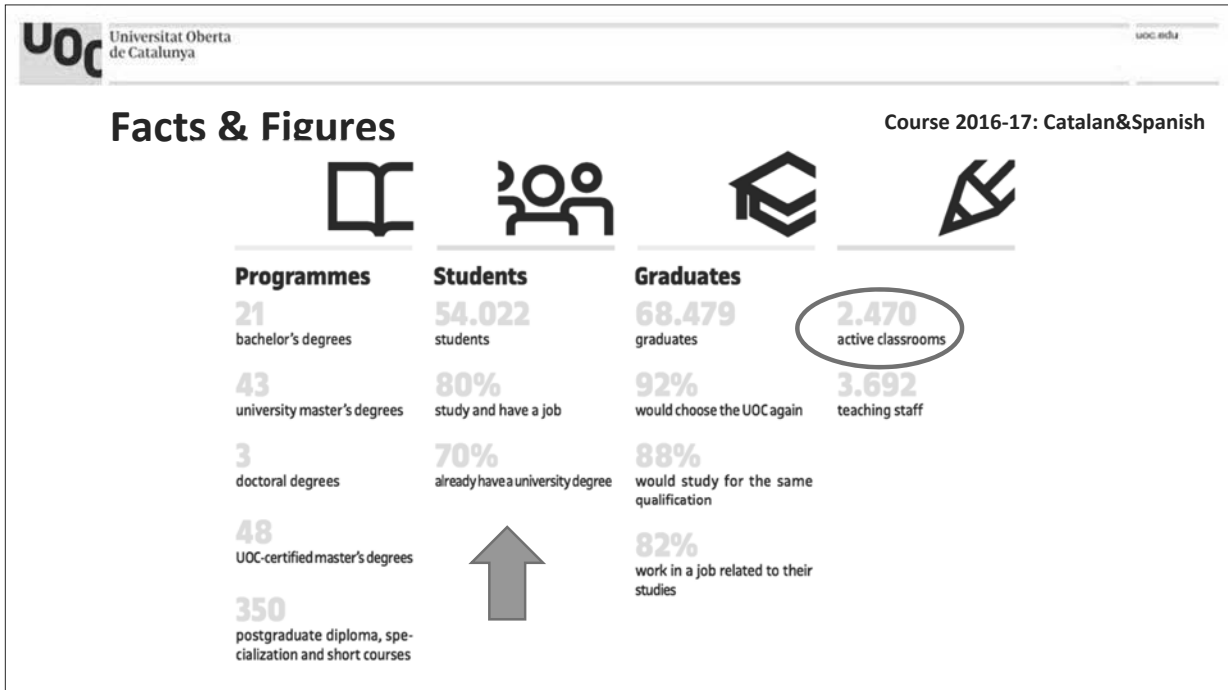
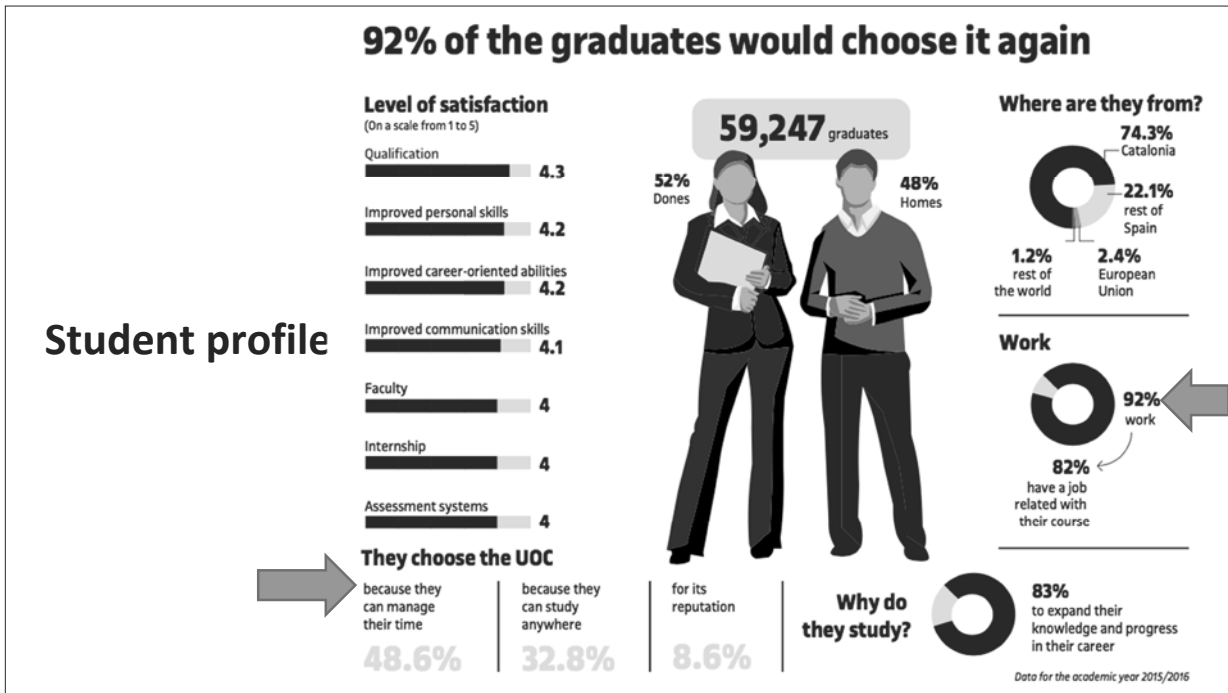
To offer people of all ages lifelong learning everywhere & everytime.

About UOC (I)

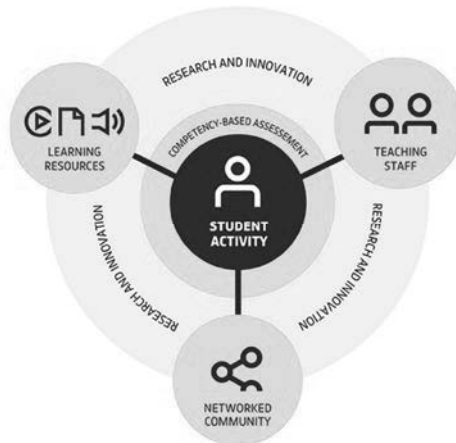
- The UOC is an **innovative university** that is rooted in Catalonia and open to the world.
- It was **the first university in the world that was born in the virtual world**.
- Founded in 1994 with the backing of the Government of Catalonia. UOC provides a **public service** but with a **private management model**.
- The courses offered are official and endorsed by the **Catalan University Quality Assurance Agency (AQU Catalunya)** and the **Spanish Quality Assessment and Accreditation Agency (ANECA)**, which assure academic rigour and compliance with the standards.

About UOC (II)

- UOC began its activities in **the academic year 1995/1996**, with 200 students on officially recognized courses in Education, Psychology and Business Studies in Catalan.
- Our **educational model** is based on the learner and in the activities she/he performs with the most appropriate learning tools and resources through our own virtual campus, being always guided by online teachers.
- The assessment model is mainly based on the **continuous assessment**.
- **Own virtual campus**, not a standard one. All members interact there.

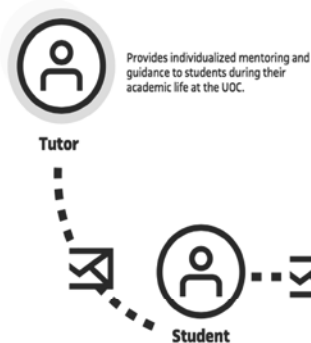


UOC Educational Model: dynamic & flexible



Educational staff structure

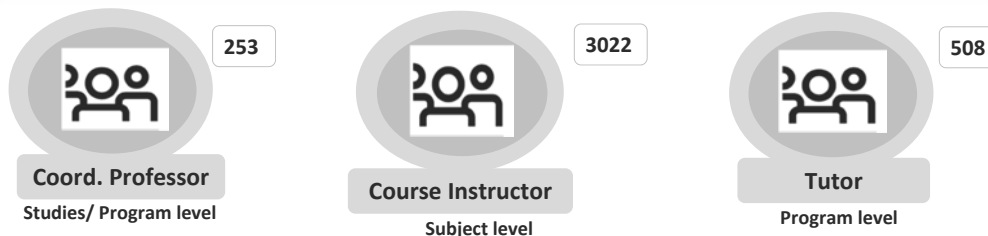
Educational staff



Student support

Students are supported by **teachers** whose primary functions are to design, guide, promote and assess the entire educational process. There are three teaching profiles – professor, course instructor and tutor – who work jointly to assure quality in the learning process.

- The professor **designs** the course, assures its quality and coordinates the course instructors.
- The course instructor **guides** and **assesses** the students' learning process within the framework of a particular course.
- The tutor **guides** the student in choosing a personalized academic pathway throughout their time at the UOC.



- ✓ Professor **responsible for the program***: full time staff at UOC.
- ✓ **Designs** the program and learning plans for all subjects. Take care of quality assurance.

- ✓ Part-time staff, faculty of other universities and/or practitioners.
- ✓ **Monitors** the given learning, conduct activities, evaluate.

- ✓ Part-time staff, faculty of other universities and practitioners.
- ✓ Gives **support and advice** during the whole academic life of the student

* 85% of UOC faculty have a doctoral degree 76% of UOC faculty with doctorates have been accredited.

The teaching & learning process

It is conducted across the UOC **Virtual campus**, mainly at **Virtual classrooms**.

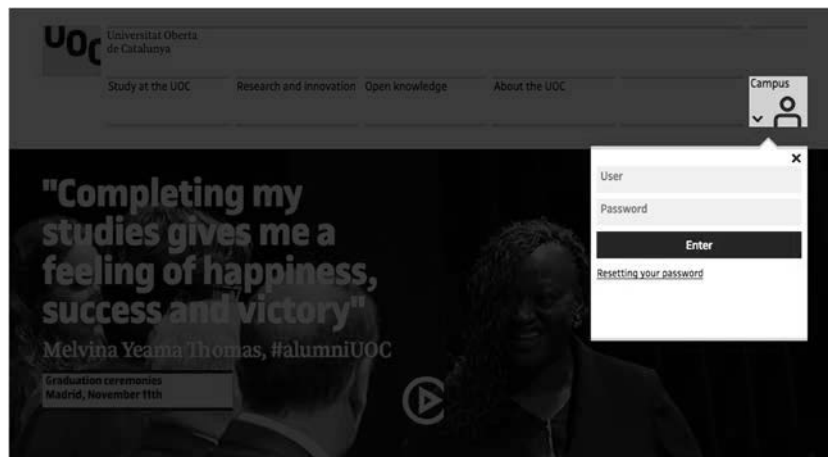
The virtual classrooms is organised in some spaces to promote **communication & information** spaces to facilitate learning.

It contains all the **key elements** to course development:

- Syllabus of each course
- Learning activities (assessable or not)
- Schedule (calendar & work sequence)
- Communication spaces (blackboard, debate, forum, groups for teamwork)
- Tools & resources (didactic materials/software)
- Assessment model (CA, Pr, V.Ex...)
- Educational team (coordinating professor, course instructor, tutor..)

+ Secretary, student attention service, digital library...

UOC Virtual campus




UOC Universitat Oberta de Catalunya uoc.edu

Virtual Classroom

Pla docent

AVUI
Setmanes (Dilluns)
febrer 2017
març 2017
abril 2017
maig 2017
juny 2017
juliol 2017

Activitat (PAC)

Pràctica

INICI. Navegació, comunicació i coHaboració a la xarxa

Baixa en PDF
Imprimeix
Completada!

Inici:

22/02/17

Lliurament:

28/03/17

Qualificació:

08/04/17

Enunciat

Desenvolupament

Estructuració

Tancament i difusió

PROJECTE DIGITAL EN EQUIP

Materials

Tauler 101 101

divendres 16/06/17 - 08:37

Finalització de TEX

divendres 16/06/17 - 08:33

Wikis dels projectes

divendres 16/06/17 - 08:31

Enquesta institucional i de l'assignatura

Fòrum

dimarts 13/06/17 - 00:31

Millores projecte Wiki

UOC Universitat Oberta de Catalunya uoc.edu

Syllabus

Índex

- Presentació**
 - Descripció
 - Camps professionals en què es projecta
 - Coneixements previs
 - Informació prèvia a la matrícula
- Objectius i competències**
- Continguts**
- Recursos**
 - Consulta dels materials de què disposa l'assignatura
 - Bibliografia i fonts d'informació
- Metodologia**
- Avaluació**
 - Informacions sobre l'avaluació a la UOC
 - Consulta del model d'avaluació
 - Avaluació continuada
 - Avaluació final
 - Feedback
- Dates clau**

UOC Universitat Oberta de Catalunya uoc.edu

Virtual Classroom

Enunciat

Desenvolupament

Estructuració

Inici

Tancament i difusió

PROJECTE DIGITAL EN EQUIP

•Debata l'aula a partir d'un cas.
 •Primeres cerques individuals compartides.
 •Formació dels equips de treball i concreció del tema del projecte.
 •Elaboració dels primers acords de funcionament del grup i de la planificació del projecte digital.

[PAC1_TEX.pdf](#)

Objectius i competències

- Adquirir habilitats de comunicació en un entorn virtual
- Iniciar la planificació del treball en un entorn virtual
- Cercar i seleccionar informació a la xarxa
- Iniciar el treball en equip en un entorn virtual

divendres 16/06/17 - 08:31

Enquesta institucional i de l'assignatura

Fòrum

dimarts 13/06/17 - 00:31

Millores projecte Wiki

divendres 02/06/17 - 07:52

RE: Problemes a l'edició dels comentaris amb Firefox i IOS

dijous 01/06/17 - 22:37

RE: Problemes a l'edició dels comentaris amb Firefox

Wikispaces

Grups de treball

1959 1959

Participants

Estudiants connectats (12)

Visualitza tots els estudiants (75)

Assessment activities

Activitats avaluables

A- Activitats individuals:

1. Debat a l'aula a partir del video sobre al treball en grup en entorns virtuals, presentat pel professor col·laborador, a fi de compartir visions que puguin afavorir la formació dels grups. **Del 27 de febrer al 6 de març**
2. Primeres cerques individuals a la xarxa. **Del 1 al 10 de març**
3. Redactar un Pla Personal d'Estudi. **28 de març**

B- Activitats en grup:

3. Formació dels grups de treball i concreció del tema del projecte. **Del 6 al 20 de març**
4. Elaboració dels primers acords de funcionament del grup. **28 de març**

Debat: cas de treball en equip

314 314

- **dijous 02/03/17 - 15:31**
Tercer grup de preguntes (absències)
- **dimarts 28/02/17 - 18:23**
Segon grup de preguntes (organització)

Criteria

Avaluació

Pel que fa a l'adquisició d'habilitats de comunicació en un entorn virtual d'aprenentatge

- La claredat de la informació compartida i l'estil comunicatiu emprat.
- La qualitat de les intervencions, la concreció del contingut, la capacitat de síntesi i el seguiment dels fils de conversa.
- El fet de mantenir una actitud cívica en el marc del treball en un entorn virtual.

Pel que fa a la cerca i selecció d'informació a la xarxa

- L'adequació i la qualitat de les cerques realitzades, així com el grau de coherència en l'explicació de l'estratègia de cerca.

Pel que fa a la planificació de l'estudi i el treball en un entorn virtual

- L'enumeració detallada de les tasques i activitats de la nostra assignatura en el Pla Personal d'Estudi.
- La temporalització coherent dels esdeveniments de la planificació en el document presentat.

Pel que fa a l'inici del treball en equip en un entorn virtual

Examples of learning activities using tools

To work a legal case in a Lawyer department. 3D simulator.



Examples of learning activities

Writing a virtual project in a collaborative way using Wikispaces

20132 Grupos Trabajo en equipo en la Red aula 1 Grupo 2

Búsqueda

- Inicio
- Índice
- Introducción
- Mapa conceptual
- ¿Qué es un blog?
- Pautas para la creación de un blog.
- Rentabilización de un blog.
- Casos de éxito de blogs comerciales.
- Bibliografía y/o webgrafía
- Valoración Final del trabajo en equipo

Creación y explotación de blogs de forma Comercial.



UOC Universitat Oberta de Catalunya

Examples of learning activities

To work oral&written communication skills : Langblog y Microblogging

UOC Universitat Oberta de Catalunya

Examples of learning activities

To learn mathematics or others scientific areas.

OLURA
Asistente de Lógica Universal y Recurso de Autoevaluación

UOC Universitat Oberta de Catalunya

Inicio - [Lógica de Enunciados: Formalización - Deducción natural - Resolución - Tablas de verdad] - [Lógica de Predicados: Deducción natural - Resolución - Fórmulas a Enunciados] - PEC - Ejercicios comentados - Administración - Videoayuda

Usuario: Ana

Lógica de Predicados > Fórmulas a Enunciados

Ejercicios propuestos recomendados Ver todos

Mis enunciados

Ejercicio 1
 $\exists x P(x)$
 $\therefore \forall x P(x)$

Ejercicio 2
 $\exists x (P(x) \rightarrow Q(x))$
 $\forall x (\neg Q(x) \rightarrow \exists y R(y))$
 $\forall x (Q(x) \wedge \exists y R(y) \rightarrow \exists z S(z))$
 $\therefore \exists x (S(x) \vee \neg R(x))$

Ejercicio 3
 $\forall x (\exists y Q(x, y) \rightarrow P(x))$
 $\forall x (\forall y Q(x, y) \rightarrow P(x))$
 $\therefore \exists x \exists y (Q(x, y) \rightarrow P(x))$

Ejercicio 4

Resumen

Ejercicios propuestos	Completos	0
	Incompletos	0
	Pendientes	5

Ver estadísticas

Mis ejercicios

Comprobar

Pregunta 7
Sin finalizar
Puntuación como 1,00

La representación gráfica de la función $f(x) = \cos(x + 1)$ es

Seleccione una:
 Verdadero
 Falso

Comprobar

Pregunta 8
Sin finalizar
Puntuación como 1,00

La representación gráfica de la función $f(x) = \cos(x) - 1$ es

Seleccione una:
 Verdadero

UOC Universitat Oberta de Catalunya

Examples of learning activities

To present final degree project: Present@.

Present@
present@

UOC Universitat Oberta de Catalunya

Visualización de los eventos

AL LADO DEL VÍDEO SOBRE EL VÍDEO OCULTO, SOLO VÍDEO

Eventos: Inicio Sobre el vídeo Sobre el vídeo

Mireia García Rius
Información complementaria

PLAY 00:00:15 / 00:00:30

Video list:

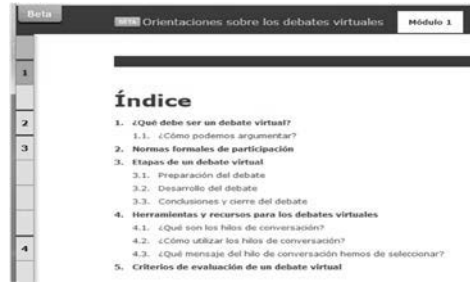
Numero	Apellido	Fecha	Título	Estado	Usuarios	Comentarios
Mireia	García Rius	2018-08-13	tutorial	Finalizado	1/1	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	tutorial	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	tbla	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	tbla medicam	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	tbla	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	medicam	Pendiente	0/0	Editar
Rafael	Aguiar	2018-08-13	Big Buck Ridge Again, again	Pendiente	0/0	Editar
Andru	García Rius	2018-08-13	La vida de Gemini - Part ...	En proceso	2/2	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	mi video	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	test	Pendiente	0/0	Editar
Antoni	García Rius	2018-08-13	PrivaTex1	Pendiente	0/0	Editar
Antoni	García Rius	2018-08-13	Miba	Pendiente	0/0	Editar
Andru	García Rius	2018-08-13	Priva de Video	Pendiente	1/1	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	El meu video	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	el meu video 2 - medicam	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	El meu video	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	video cámara web	Pendiente	0/0	Editar
Mireia	García Rius	2018-08-13	prova	Pendiente	2/2	Editar

Resources, multimedia materials...



Formatos de materiales

- WEB HTML 5**
Nuevo formato web de los materiales (HTML 5)
- AudioLibro**
Ficheros mp3 y en un zip para DAISY.
- VideoLibro**
Texto y audio en mp4.



Índice

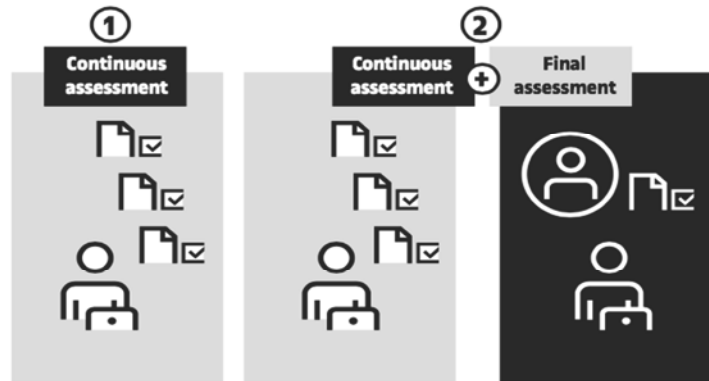
- ¿Que debe ser un debate virtual?
 - ¿Cómo podemos argumentar?
- Normas formales de participación
- Etapos de un debate virtual
 - Preparación del debate
 - Desarrollo del debate
 - Conclusiones y cierre del debate
- Herramientas y recursos para los debates virtuales
 - ¿Qué son los hilos de conversación?
 - ¿Cómo utilizar los hilos de conversación?
 - ¿Qué mensaje del hilo de conversación hemos de seleccionar?
- Criterios de evaluación de un debate virtual

- Mobipocket**
Formato texto para dispositivos portátiles, eBooks y PCs.
- ePub**
Formato texto para eBooks (Sony Reader y BeBook).
- PDF (A6)**
PDF en tamaño A6
- Más información

Assessment

The assessment is **continuous and formative** and has an impact on the continuous improvement of the learning.

The assessment activities help ensure the achievement of learning objectives and the development of skills.



Level of competence acquisition.
Personalised feedback besides marks.

Assessment tracking

UOC Entrega y registro de EC Cerrar
 75.561 Trabajo en equipo en la Red - aula 1
 Estadísticas | Importa de hoja de cálculo | Exporta a hoja de cálculo | Manual | Imprimir

Estudiantes: 30	actividades:	1	2	3	4	5	6	PD
<input checked="" type="checkbox"/> ver foto	recibidas:	7	7	7	0			
	entrega:	24/10/2014	11/11/2014	28/11/2014	8/01/2015			
	publicación:	30/10/2014	20/11/2014	8/12/2014	13/01/2015			

Estudiante	REC. histórico	1	2	3	4	5	6	PD
Edy. 81.523 Primer semestre Intervenciones: 0	REC. histórico	N	C.	N	N	N	N	N
Israel. Intervenciones: 0	REC. histórico	A	A	B	B	B8	A9	B8,7
Ricardo. Primer semestre Intervenciones: 0	REC. histórico	A	A	B	B	B8	A9	B8,7

At the end: graduated!



... or not

Challenges at UOC

- Fully online e-assessment avoiding or **reducing final face to face** examinations (TeSLA project)
- **Evolve** every academic year our own **VLE** (adding new tools & resources/products)
- **Several languages** (one classroom with several languages at the same time)
- To update resources **new formats & devices** (growing and changing very fast)
- To offer new bachelors degrees like “traditional art” (sculpture...)

Recomendations when becoming online

- ✓ Think and think about your Educational Model (how you will teach & learn + components)
- ✓ Highly motivated professors
- ✓ VLE: tools and resources, scalability & robustness
- ✓ Be constantly updated (teachers training, technological developments, companies knowledge to bring to university)
- ✓ Compliance with ESG: Quality Assurance
- ✓ Innovation & Research (see others)
- ✓ **Think always on what learners need to learn and how is it better!!!!**

2. 学習チュータリングシステム Learning Tutoring System (New Goals LIS Project)

対応者：Dr. David Baneres LIS プロジェクト主任研究員、および Dr. Abdul Kadir Karadeniz LIS プロジェクト主任研究員

カタルーニャ公開大学の学内公募により採択された本プロジェクトでは、知的学習支援システム(Intelligent Tutoring System)である LIS の開発を目指している。主な目的はカタルーニャ公開大学の学生支援であるが、大学の認知度向上、学术界への貢献、他組織との共同プロジェクトのための下地などの目的もある。LIS の主要な構成要素は、予測システム、早期警告システム、ゲーミフィケーションメカニズム、そしてダッシュボードである。プロセスとしては、まず、学習管理システム(バーチャルクラス)での学習履歴データ、試験の結果、学生データなどを収集する。



次に、それらをもとに、進行中のクラスにおける最終成績の予測と、それに基づく早期警告を行う。同時に、個別の学生に適した学習スタイルの提案、学生が次に行うべきタスクや学習すべき教材の推薦などを行うこともできる。ランキングの提示やバッジシステムなど、ゲーミフィケーションの要素を取り入れることによって、学生のモチベーションを向上させることも狙っている。上記のような予測・推薦結果やバッジなどはダッシュボードに提示され、ダッシュボードでは対話エージェントも提供される。

本プロジェクトは訪問調査の時点で進行中であり、予測システムの構築と実データに基づく評価、および一部機能のプロトタイプシステムの開発などが行われていた。早期警告システムは、バックエンドのシステム構築と、学生向け、および教員向けのインタフェースが完成している。学生は本システムを、自己評価やモチベーションの向上に役立てることができる。教員は落第リスクのある学生を早期発見でき、個別指導につなげることができる。

知的学習支援に関する研究は古くから行われている。2000年代に入ると学習履歴データの蓄積が進み、それらを活用する取り組みも盛んに行われるようになった。LIS の構成要素である成績予測、教材推薦、ダッシュボード、ゲーミフィケーションなどは、それぞれの領域で研究が蓄積されている。LIS はそれらを組み合わせ実用的なシステムを構築する野心的なプロジェクトであるといえる。学習活動の多くがオンラインで行われるカタルーニャ公開大学では、データ収集における強みや、学生・教員にとっての必要性といった観点から、特に有用で意義のあるプロジェクトと考えられる。



カタルーニャ公開大学では、学生を含む若手の研究者がこのようなプロジェクトに集中できる環境の構築にも力を入れていると思われる。文字通りガラス張りで見通しのよいフロアとも相まって、活気に満ちていたことが印象的であった。



LIS

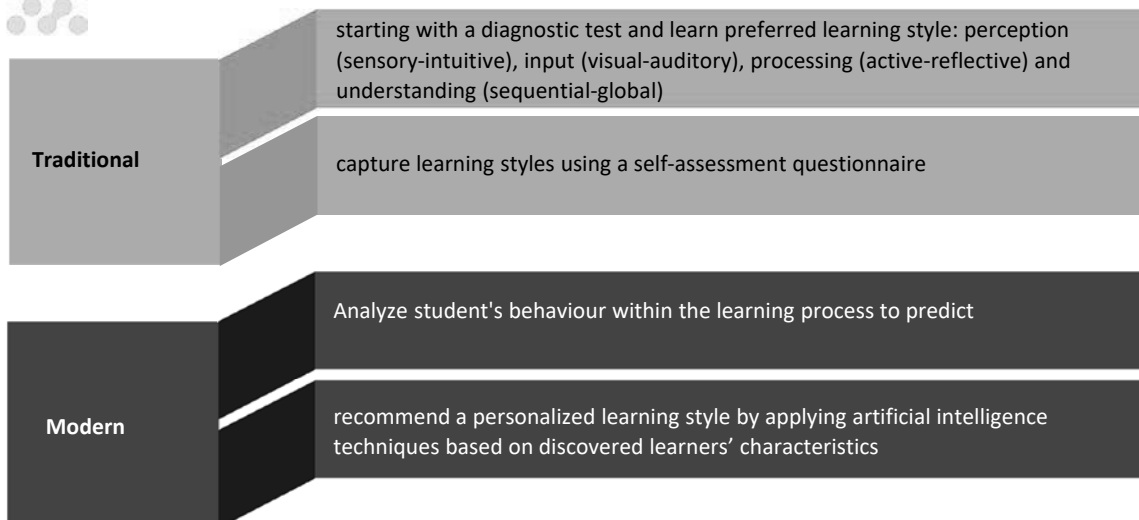
David Bañeres, Abdulkadir Karadeniz,
Ana-Elena Guerrero, M. Elena Rodríguez



Students' ICT Preferences



How to recommend personalized learning style



UOC R&I research.uoc.edu

An intelligent tutoring system (ITS) is a computer system that aims to provide immediate and customized instruction or feedback to learners, usually without requiring intervention from a human teacher.

The diagram features a central dark circle labeled 'LIS Intelligent Tutoring System'. Four callout bubbles point to it: 'Adaptive and safe to use' (top), 'Fault-tolerant and Self-correcting' (top-right), 'Context and situation awareness' (left), and 'Seamless Integration' (bottom-left).

UOC R&I research.uoc.edu

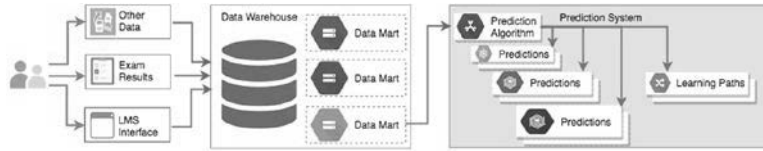
Principal Aim

To develop an adaptive system to be globally applicable at UOC campus to help students to succeed in their learning process.

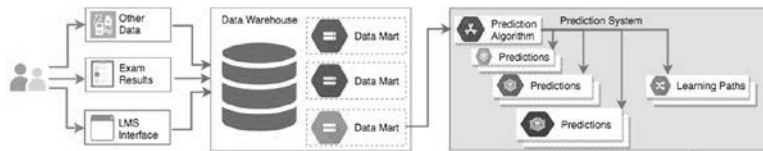
A honeycomb grid of hexagons. Several hexagons contain text and icons: 'EASY TO USE' (thumbs up icon), 'EFFICIENT TOOLS' (clock icon), 'CUSTOM BADGES' (star icon), 'SOCIAL GAMES' (trophy icon), and 'MOBILE READING' (book icon).

UOC R&I research.uoc.edu

The diagram shows a central dark circle labeled 'LIS Intelligent Tutoring System'. It is surrounded by six hexagonal components: 'Interface' (left), 'Predictive Analytics' (top-left), 'Early Warning System' (bottom-left), 'Automated feedback' (top-right), 'My Checklist Gamified' (bottom-right), and 'Automated Recommendations' (right).



- to explore specific predictive models for each type of recommendation.
- to create models to predict the student's behavior individually.
- the models will be created based on the data stored in the UOC data mart.

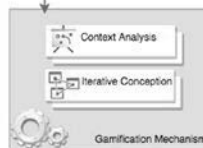


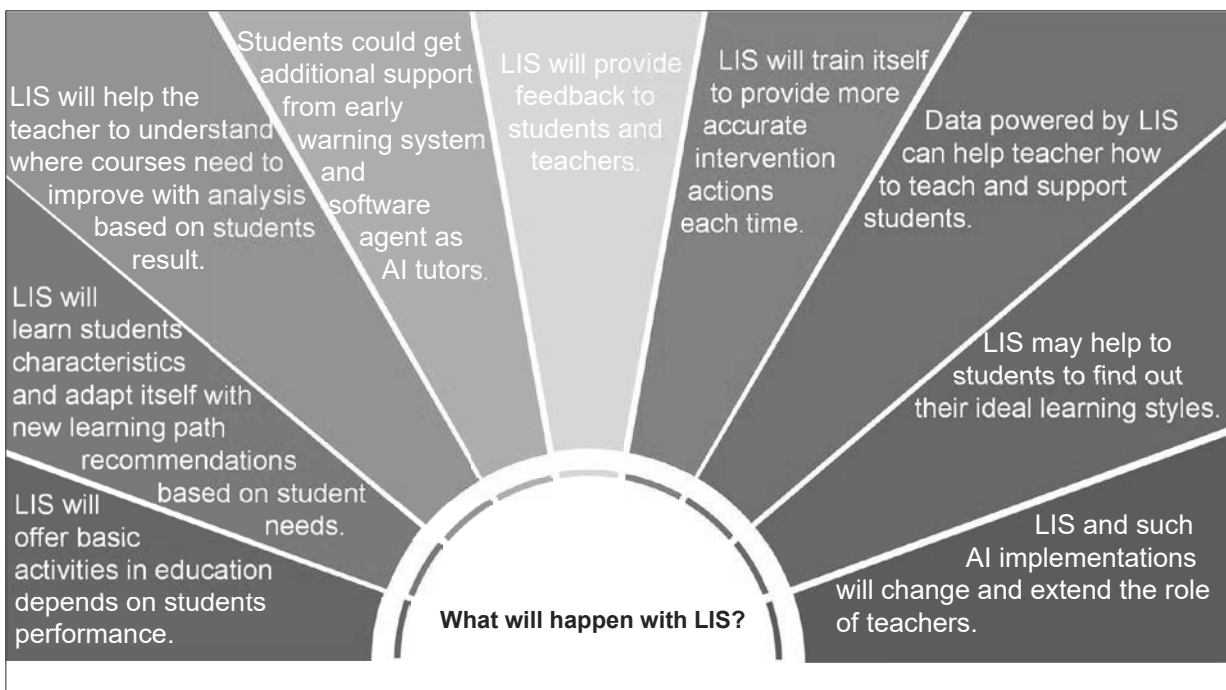
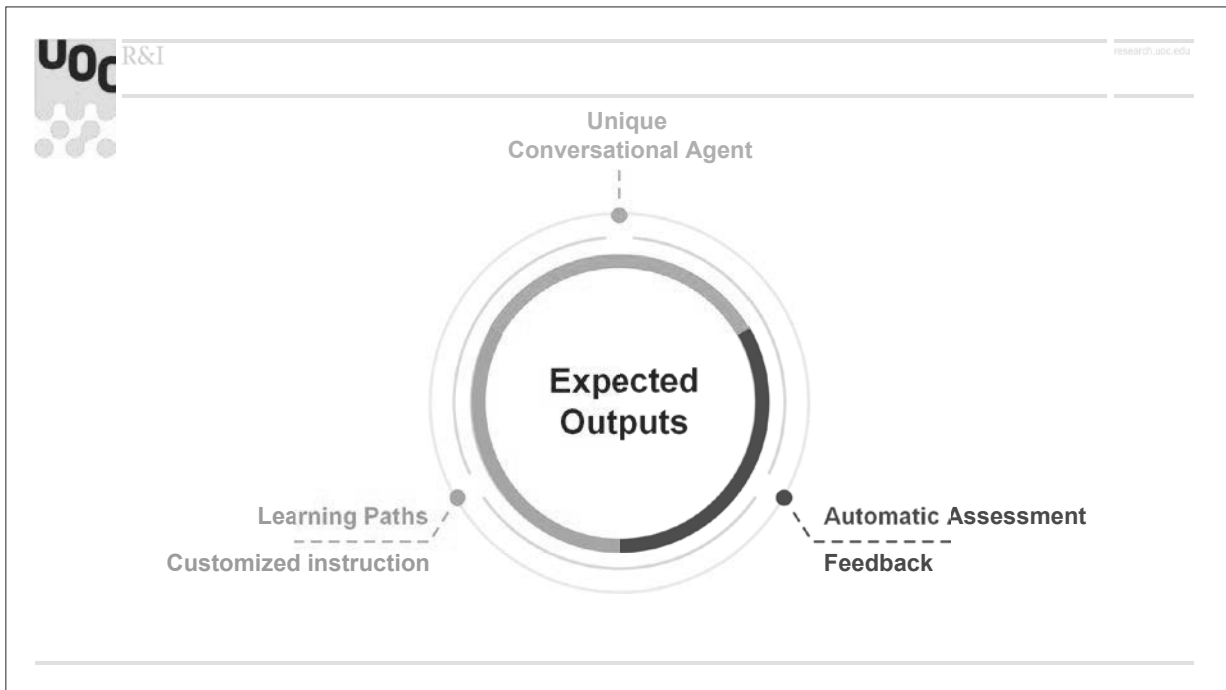
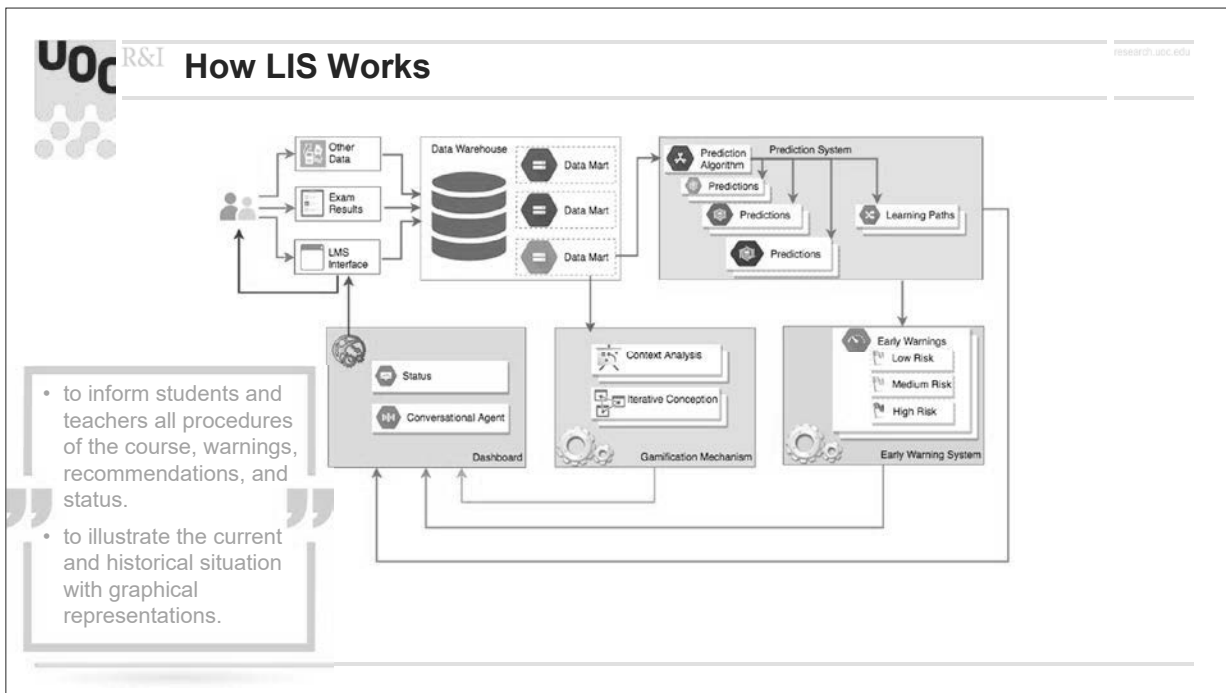
- to focus on generating semi-automated learning paths and provide these options to succeed to students.
- to recommend to students the next tasks to perform or even the resources to access.
- to reinforce the personalized feedback.

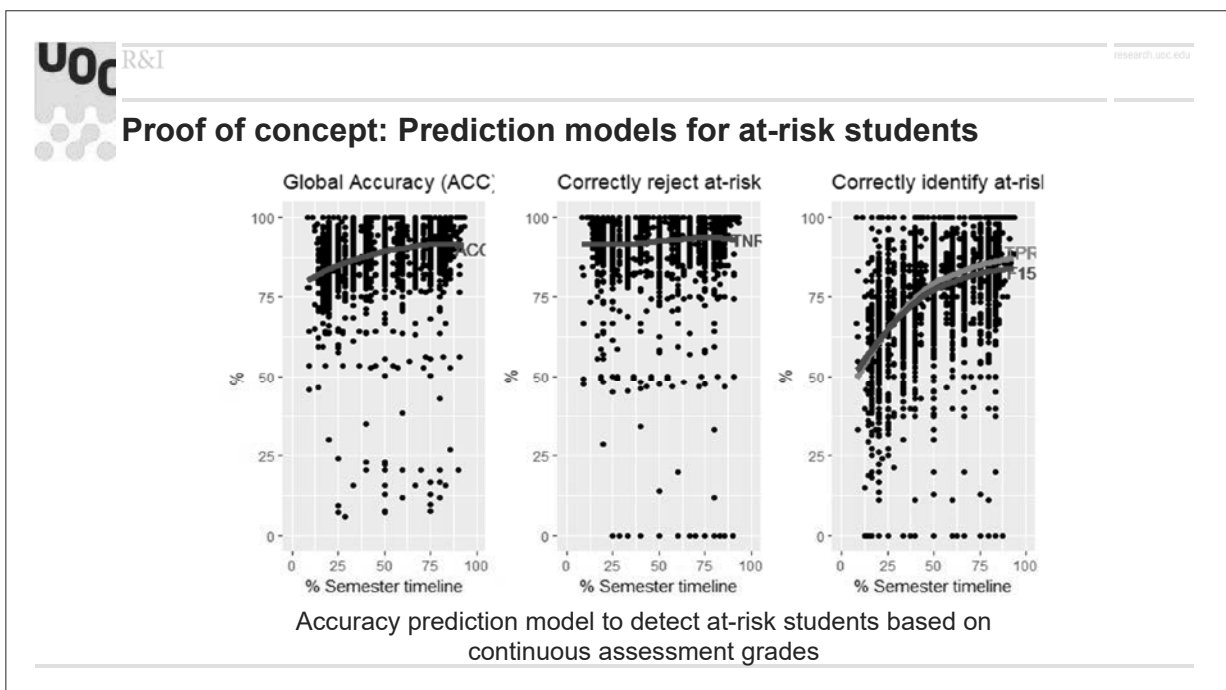
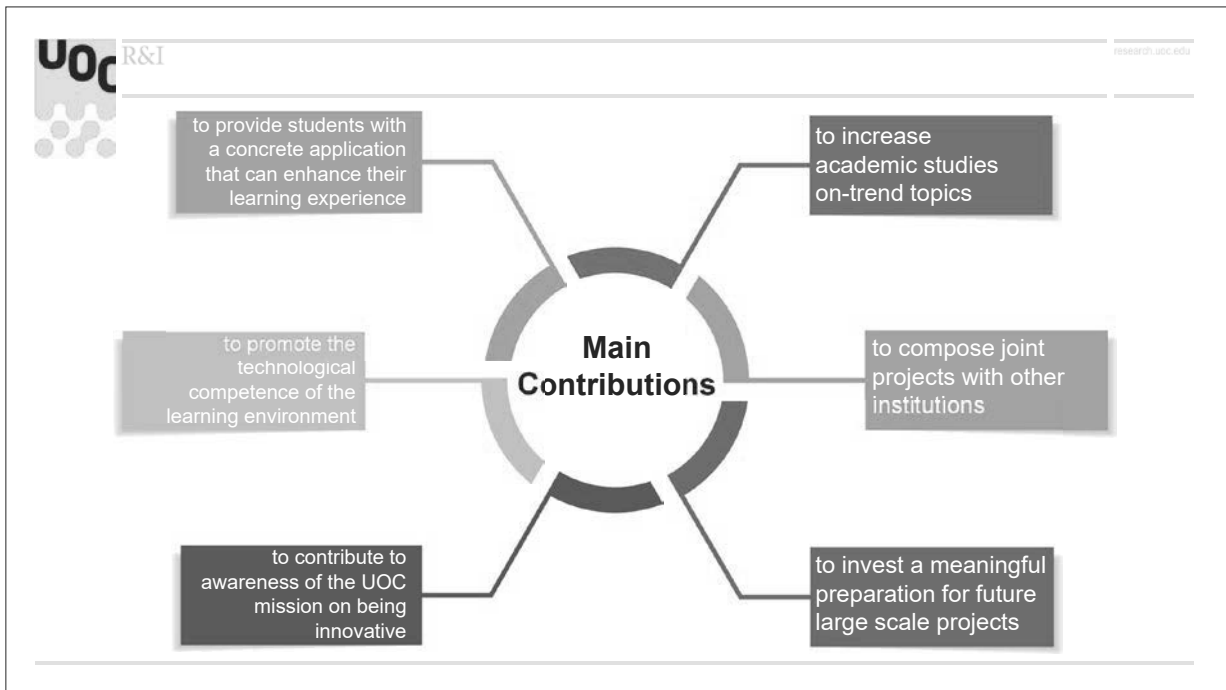
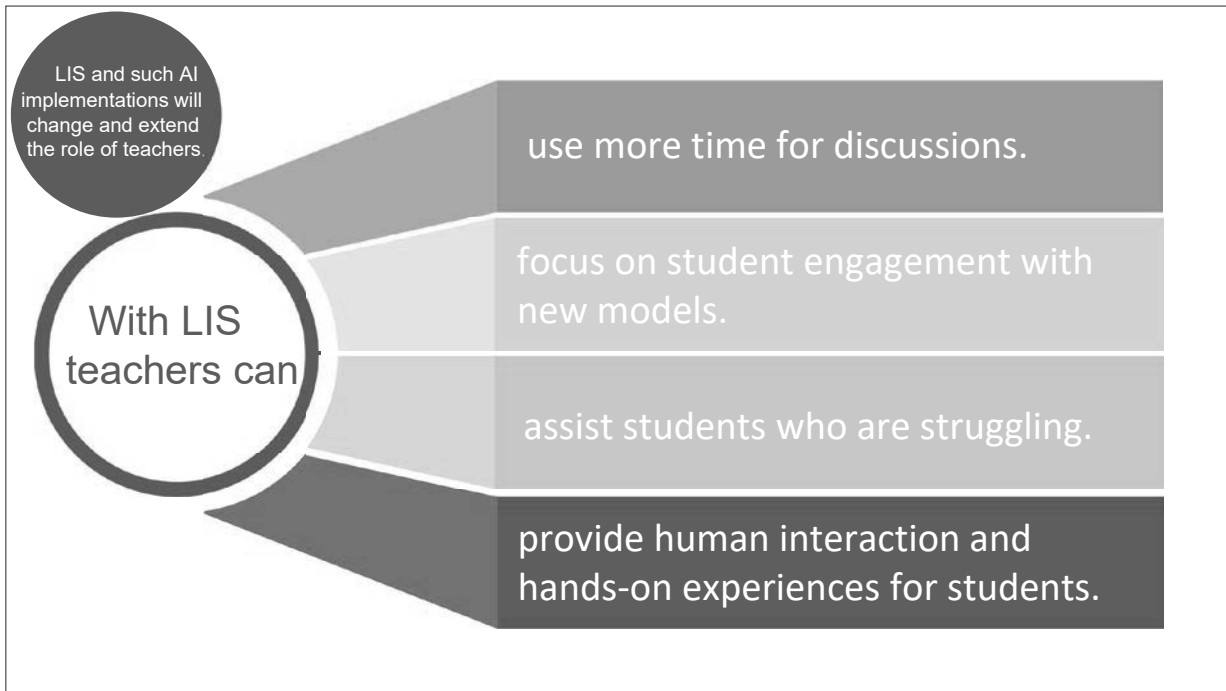


rankings and badges will be used with LIS

- to increase student's commitment
- to create a positive impact on student learning







UOC R&I research.uoc.edu

Proof of concept: Early Warning System (student dashboard)

UOC Universitat Oberta de Catalunya **Proof** Prediction pessimistic model - Fundamentos computadores aula 2 english -

Hello **Alfonso** alfonso@uoc.edu

Prediction to pass the course

Warning level ○ ○ ○

N D C- C+ B A

AA1 fail pass Show Precision

UOC Universitat Oberta de Catalunya **Proof** Prediction pessimistic model - Fundamentos computadores aula 2 english -

Hello **Alfonso** alfonso@uoc.edu

Prediction to pass the course

Warning level ○ ● ○

N D C- C+ B A

AA1 fail (88.30%) pass (85.74%) Precision: 69.46%

AA2 fail pass Show Precision

Previous to activity 1 submission

After activity 1 is graded

UOC R&I research.uoc.edu

Proof of concept: Early Warning System (teacher dashboard)

Classroom Students

Username	Student	Last access	AA1		AA2		AA3		AA4	
			Pred.	Grade	Pred.	Grade	Pred.	Grade	Pred.	Grade
Fundamentos computadores aula 2										
		2017-11-27 15:01:01	○ B	A	○ B	B	○ Cm	A	○ Cn	A
		2017-11-03 06:36:43	○ B	N	● Z	N	● Z	N	● Cn	N
		2017-11-14 18:47:21	○ B	B	○ B	B	○ Cm	D	○ Cn	N
		2018-01-06 13:20:13	○ B	D	○ B	D	○ B	D	○ Cn	N
		2017-12-20 23:10:48	○ B	Cm	○ B	Cm	○ Cm	Cm	○ Cn	Cm

Prediction progression by student

Prediction progression by classroom

UOC R&I research.uoc.edu

“

Welcome LIS at UOC,
we expect that you succeed
as students do.

”

3. 質保証 Quality Assurance

対応者：Ms. Maria Taulats 計画・品質課長、および Ms. Maria Galofre

カタルーニャ公開大学では、開学以来教育の質を追求しており、質の高い教育を同学の重要な柱の一つととらえている。10名弱の専任スタッフがデータ収集、資料作成など、質保証に関する業務に当たっている。後述するAQUカタルーニャなどの評価・認証への対応に加えて、カリキュラムの改善に役立つデータを収集して教育スタッフに提供している。EUにも、組織やプロジェクトのパフォーマンス(たとえばEFQM)や、特定の領域における教育プログラムの検証、認定(たとえば情報分野のEQANIE)を行う組織が存在するが、カタルーニャ公開大学では、より遠隔オンライン教育に適した質保証の仕組みを模索してきた。



先駆的なオンライン大学として開学した同学では、質保証においていくつかの課題を抱えてきた。大学における一般的な質保証の基準は、通学制の大学を想定している。オンライン教育に特化した基準が欠如しており、オンライン教育を評価できる人材も不足していたことから、認証を受ける上での苦労があったことがうかがえる。また、一定の基準を満たせば誰でも入学できることから、一般の大学と比較して学生のレベルにばらつきがあることによる質保証の難しさもあるようである。

AQUカタルーニャ(以下、AQU)は、カタルーニャの高等教育機関における質評価、認証を行う役割を持った組織である。カタルーニャ公開大学では、大学全体、学位課程ごと、個別のサービスなど、様々な側面からAQUなどによる評価・認証を受けており、その後も内部レビューを続けている。AQUのプログラム認証は通学制をベースにしたものであり、オンライン教育に特化したものではなかったが、現在はAQUやENQA(欧州の高等教育の質保証に関する組織でありAQUもメンバーである)でもオンライン教育の評価に関するガイドラインが作成されており、それを参照している。

このような評価・認証自体は欧州の多くの大学で実施されている。本訪問調査では質保証に関して1セッションが割かれたことから明らかなように、カタルーニャ公開大学では質保証を重視し、組織としてより積極的に取り組んでいると考えられる。評価結果に加え、各種関連文書や、収集したデータなどをWebサイトで公開している。これは、公開大学であるがゆえに入学選抜を行わないものの、質の高い教育を行っている点を社会に対して積極的にアピールする必要があるためであると思われる。1人の教員が1つのコースのすべてを担当する一般的な授業形態ではなく、スタッフの分業による授業実施が確立している



ことも、このような評価活動の重要性を増している。評価を行うだけでなく、評価プロセスを通して、および評価結果から改善につなげる土壌作りにも力を入れている様子うかがえた。

Quality assurance and improvement at the UOC

31st October 2019

1

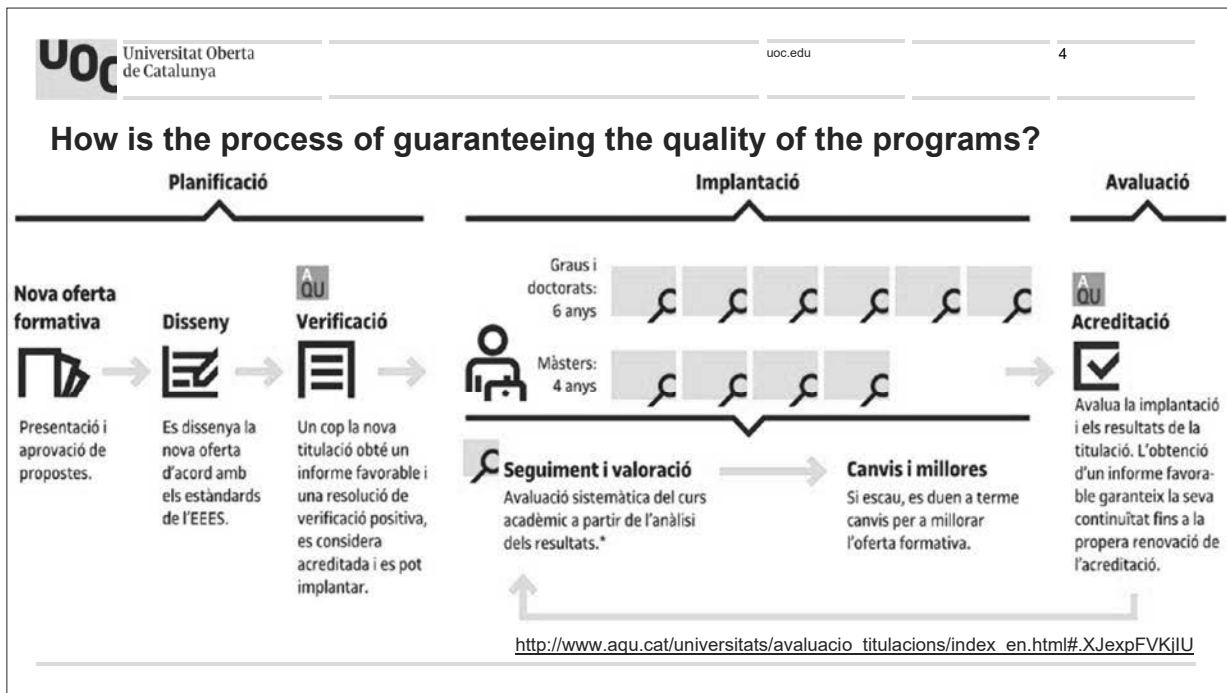
Some references and understanding of the context

- Spanish and catalan university systems are highly regulated (around 80 universities)
- UOC is the 1st *on-line* university in the world and the 2nd distance learning university in Spain
- In the earlier 90s the use of the internet is extended and UOC begins its activities in the academic year 1995/1996, with 200 students
- Creation of the EHEA in Spain from 2007
- First external evaluation post ante, from 2011

Ratings (at the moment):

- ★ The University has sought recognition mechanisms beyond those of the system of which it is a part (EFQM, EQANIE)
- ★ External visits should broaden the vision of the impact of on-line training (eg: international students and professors participating online during the visit)
- ★ Few expert evaluators in online education
- ★ Accreditation processes tend to homogenize, diversity or difference is not valued
- ★ The UOC, with the current evaluation framework, has not yet received any degree accreditation with progress towards excellence (18% of the Catalan Universities)

3



UOC Universitat Oberta de Catalunya uoc.edu 5

Standards of validation of proposal for recognition

1.-Description of the programme name
2.-Justification
3.-Skills and competences
4.-Access and admission
5.-Programme planning
6.-Teaching staff
7.-Resources and services
8.-Expected results
9.-Internal quality assurance system
10.-Implementation schedule

Criteria and standards for assessment

1.-Quality of the training programme
2.-Relevance of the public information
3.-Efficacy of the programme's internal quality assurance system
4.-Suitability of the teaching staff for the training programme
5.-Effectiveness of learning support system
6.-Quality of learning outcomes

Guide to the accreditation of recognised bachelor's and master's degree programmes

UOC Universitat Oberta de Catalunya

Additional References:

European and Spanish specific documents to evaluate e-learning

<https://enqa.eu/indirme/papers-and-reports/occasional-papers/Considerations%20for%20QA%20of%20e-learning%20provision.pdf>

http://www.aqu.cat/doc/doc_11943945_1.pdf

Validation of proposal	Assessment	How the UOC responds to the specifications
1.-Description of the programme name	1.-Quality of the training programme / 6.- Quality of learning outcomes / 2.-Relevance of the public information / 5.-Effectiveness of learning support system	Related our Mission
2.-Justification		International and on-line references
3.-Skills and competences		Skills and competences must be able to be achieved regardless of the modality / Specific skills for e-learning
4.-Access and admission		Various access profiles/ Guidance and advice/ Professional experience
5.-Program planning		Learning methodologies/ Materials and teaching resources
6.-Teaching staff	4.-Suitability of the teaching staff for the training programme	Specific academic structure/ Profiles of teaching staff/ Organization of teaching/ Coordination mechanisms
7.-Resources and services	5.-Effectiveness of learning support system	Material and teaching resources/ Virtual learning environment
8.-Expected results	6.-Quality of learning outcomes	Part-time students/ Intermediate results to measure the positive evolution in the curriculum/ Drop-out/ Professional development
9.-Internal quality assurance system	3.-Efficacy of the programme's internal quality assurance system	Specific model for UOC
10.-Implementation schedule	1.-Quality of the training programme	Temporary deployment suitable for part-time training

7

UOC Universitat Oberta de Catalunya uoc.edu

1. Examples of quality of the training programme

- The programme is in line with the mission of the university
- The references are appropriate to the programme and the university
- The number of places available take into account the interest for a global demand
- Students profile allow access to qualifications related to their “system”
- The methodologies and activities of the educational model allow learning outcomes to be achieved
- Temporary planning includes / allows part-time dedication and flexible itineraries
- Specific transversal competences: use of ICT, written communication, entrepreneurial spirit, etc.

GLOBALIZATION LEARNING ENVIRONMENT METHODOLOGY

DIVERSITY STUDENTS PROFILE

8

UOC Universitat Oberta de Catalunya uoc.edu

2. Relevance of the public information

- Understandable in different geographical contexts
- Suitable for heterogeneous profiles of potential students

GLOBALIZATION METHODOLOGY TRANSPARENCY RESULTS

STUDENTS PROFILE

<https://www.uoc.edu/portal/en/qualitat/index.html>

9

4. Suitability of the teaching staff to run the programmes

- Structure, profile and role of academic staff:
 - Permanent academic staff (429, including researchers)
 - Collaborating teaching staff (4.295)
- Regardless of the structure of the teaching, the quality requirements must be fulfilled: % doctors, recognized research, teacher evaluation
- Comply with the maximum number of students per teacher (UOC ratio 1/75 students/virtual classroom)
- Selection of academic staff through public processes and free competition:
https://www.uoc.edu/opencms_colaboradors/opencms/EN/treballa/index.html

5. Effectiveness of learning support system

- The resources available to students are accessible, adequate, with innovative formats and according to current technology
- Reliability and Safety of the online learning environment
- Own technological platform
- Use of multi-devices, adaptation to users
- User-friendly for people with special needs
- Availability of the virtual environment (duplicities, redundancy systems ...)
- 24/7 service
- Modality of virtual practices / simulations / e-work

LEARNING ENVIRONMENT

STUDENTS PROFILE

METHODOLOGY

6. Quality of learning outcomes

- Coherent, adequate and adjust to the established objectives according to the learning methodology
- The planned activities have allowed to achieve the expected results
- Measure professional development and not just relation between 1st degree and 1st job
- Analyze drop-out and its causes
- Offer academic results appropriate to the modality and to the study part-time (or to a personalized time according to the needs of each student)
- Measure progress

RESULTS

STUDENTS PROFILE

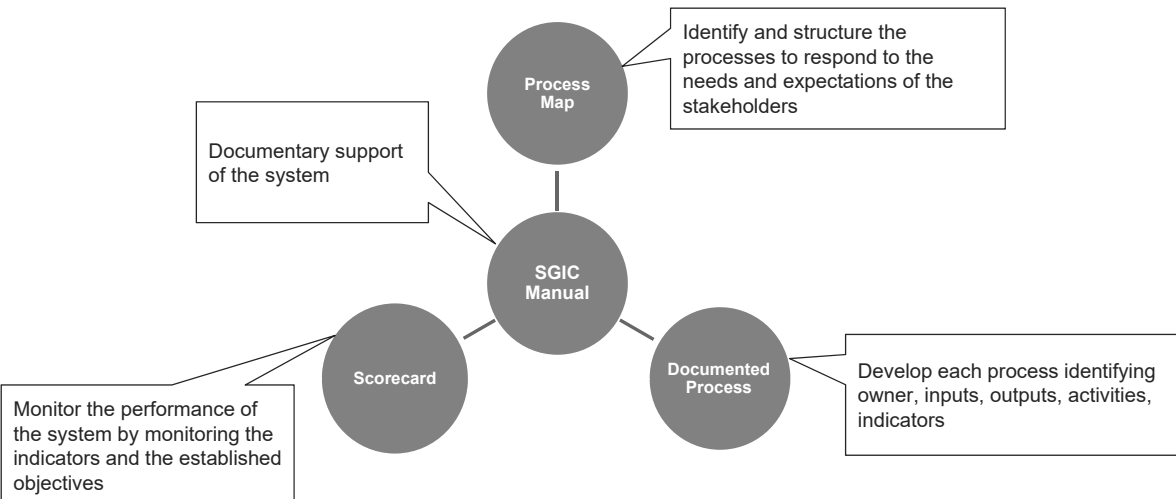
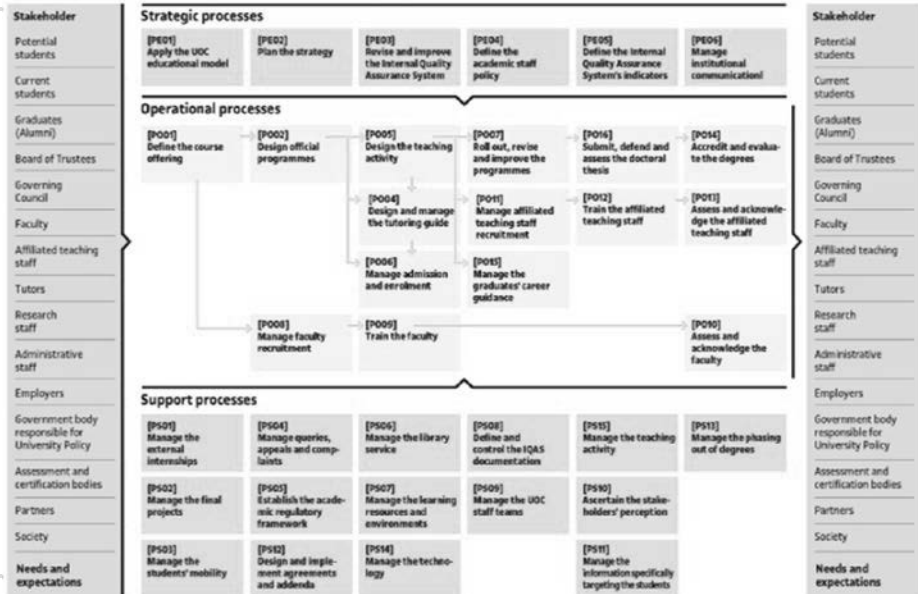
METHODOLOGY

3. Efficacy of the programme's internal quality assurance system

- Achieve positive results in external evaluation processes

Internal quality assurance system

VSMA processes Map



Why do universities need a quality management system?

- Promote quality culture
- To improve the internal organization:
 - Defined processes
 - Owners and responsible
 - Results to measure and share
- To establish a base of indicators that allows the scorecard to evolve
- Create cycles of continuous improvement
- Respond to external requirements for quality certification

Challenges:

- ★ Lack of experience of distance training by evaluators and quality regulators, and what the concept of open university means and entails.
- ★ The confusion between technology and methodology.
- ★ The new functions and roles of teachers/academy.
- ★ Mistrust in the mechanisms of identity assurance, control of activities and plagiarism.
- ★ The evaluation processes of the student, exams / non-contact final activities.

Documents:

Guide for evaluating quality system: http://www.aqu.cat/doc/doc_47139484_1.pdf

Guide to the accreditation of recognised: http://www.aqu.cat/doc/doc_10755310_1.pdf

More information about quality assurance:

http://www.aqu.cat/index_en.html

<https://www.uoc.edu/portal/en/qualitat/index.html>

4. アカデミックサービス課の業務 Academic Services Description

対応者：Ms. Alejandra Bausa Carmona アカデミックサービス課職員

UOC の学生サポートは、ウェブサイト「バーチャルキャンパス」、および各科目の「バーチャルクラス」を通じて行われることが多い。それらはアカデミックサービス課が、学生、インストラクター、およびチューターとの連絡・調整を行うことで成り立っている。70名の職員を抱えるアカデミックサービス課は、新しい提案を施行に移し、他の部局の教職員も巻き込みながら、常に改善を心掛けているのである。

以下は、対応者による英語の説明を録音したものを、日本語訳し要約したものである。

バーチャルキャンパスについて

学生が「バーチャルキャンパス」へ入るまでは、コミュニケーション課の担当業務であり、ログインして以降はアカデミックサービス課の担当業務となります。

バーチャルキャンパスで得られる情報は教員と学生で異なります。また、バーチャルキャンパスへのアクセス許可を得た入学前の学生が見られるページも、在学生のものとは異なります。それは、必要な情報が異なるからで、例えば、教員がアクセスするページには「ヘルプ」機能が表示されます。なお、

全ての情報は、カタルーニャ語、スペイン語、英語で表記されています。

私たちのチームは、5万人以上の学生を、それぞれのバーチャルクラスに導き、落ち着かせるという複雑なプロセスを担当しています。自分が UOC の修士課程で学習していた時の経験をもとに、バーチャルキャンパス全体を説明します。

学生が入学後、オンラインで各自が手続きできるようにバーチャルキャンパスを整え、常時更新を行っています。また、大学関係者や学生向けの情報（ニュース）も掲示します。

バーチャルクラスで表示される「タイムライン」は学生にとって便利です。タイムラインにおいて、例えば課題提出の完了がチェックされて一目で分かります。また、掲示板を通じて、担当教員は受講生に対して必要な情報を提供します。学生としてバーチャルキャンパスに入ると、受講している科目ごとに、どの課題がどんな評価採点を受けたか等、共通情報ではなく各学生の情報が表示されます。

課題の出題、提出、記録等の全てが掲示板上で閲覧可能なので、学生は、課題に対して教員からコメントや評価をもらい、それらも全て記録されるのです。別の部署が担当する「Eライブラリ」へのアクセスもでき、全ての学習リソースがオンラインで入手できるようになっています。



大学から学生、および教員への連絡について

学生や教員に特別な注意事項等を伝える場合は、個人宛てにメールで連絡を取ります。「ヘルプサービス」として学生から頻繁に受ける質問をまとめて紹介するページもあり、ここで解決できない質問について、ウェブ上の「質問フォーム」で問い合わせができます。

学生の一般的な質問以外に、何か問題があれば、質問フォームが私たちのチームに送付され、スクリーンショット等が証拠として添付されます。その場合、私たちが問題解決するため学生と直接のやり取りを行います。しかし、学生との直接連絡は業務外であり、私たちの主な業務は、UOC の学習システムについて学生の理解を広め、質問数を減らすことなのです。

また、学生が申請する各種証明書を手配し発行する業務も、メールを使って行います。

アカデミックサービス課内の各係の業務について

アカデミックサービス課の職員は計 70 名です。ヘルプサービス係には、学生への周知等に問題があれば、学生からの苦情や質問が入り、それらに対応することとなります。他にはエラスムス制度など留学生等の相互受け入れ管理を行う係があり、また、企業へのインターンシップを担当する係では、企業との連絡・調整を行います。

私はインフォメーション担当チームに属していて、バーチャルキャンパス内のデザイン、内容、UOC の各関係者への周知・告知を担当しています。私のチームは、バーチャルクラスを担当していて、新しいプロジェクトの発足やバーチャルクラスの再編成時に対応します。もう一つのチームは、各種証明書、本学での学術的な記録等の発行を担当し、他大学との学生交流に関与しています。

またヘルプサービス係は、バーチャルクラスのページデザインを変更した時、外部企業の協力を得て動作確認を行います。学生の入学に備えて、全てのバーチャルクラスを準備し、その後、学生からの質問や苦情に対応し、学期の終わりには会場で実施される最終試験に関する様々なことを準備するのです。それに加えて、特別な事情のある学生のための、ウェブカメラと顔認識システムを使ったバーチャル試験の実施も担当するという、小さいながらも多忙なチームです。

毎学期の始まる決まった週になると、入学に関する業務が増え職員は非常に忙しくなります。UOC の学生数からすると、常に誰かが問題を抱えて私たちに相談してくる状況であり、緊張する仕事です。

各学生は、バーチャルキャンパス内の自分のページにおいて、登録希望科目を表示します。それに対して、学生ごとに配置されるチューターが、その選択が妥当であるかどうかの確認を行い、場合によっては受講科目数を減らすことを提案することもあります。チューターは 1 学期平均 2~3 科目の登録を目安にして、学生へアドバイスをを行い、学生との同意を得て最終科目登録を行い、その後各学生をバーチャルクラスへ割り当てることとなります。

特別な事情がない限り、学生をランダムに割り当てます。教員が登録科目予定に対して確認し了承すると、その学生のウェブページに「了済済み」チェックが表示されることになっ

ています。学生にとってこの仕組みはシンプルで分かりやすいものであり、また教員は、各学生が UOC 入学までの学術的な背景についても考慮した上で選択科目について提案するため、学生は大事にケアされているという気持ちを持つことができます。

アカデミックサービス課は、各学期が始まるまでにバーチャルクラスを整え、教員から教材を集めます。では誰がウェブサイトへ掲載する作業をするのでしょうか。教材は、教員によってバーチャルキャンパス内の別所に保管され、各教材は自動的にコードを付されます。その後、教員が図書館職員に連絡・依頼しバーチャルクラスへ取り込むのです。コンピュータサイエンス学部の場合、バーチャルクラスに取り込みたい教材の PDF ファイルを、取得したコードと共に図書館担当者に送付するだけで作業をしてもらえます。

アカデミックサービス課では、ツイッターアカウントを開設し、SNS でも学生サービスを提供しています。それは学生に便利に利用され、非常に活発に活用されていて、学生からたくさんの問い合わせやリクエストが入って来ます。この業務もヘルプサービス係が担当し、1日平均100件の問い合わせ等を受けます。

学生、および教員へのメール送付業務について

大勢の学生を相手にするので、各バーチャルクラスへの割当て（業務）が困難であると感じます。また、学生宛ての個別メール送付も困難です。1万人以上の学生に送付する一斉メールは、提供する情報が適切か等を再確認しミスを避けること、情報不足や誤解を与えるような文章による学生からの不要な問合せを増やさないようにすることが緊張する業務です。

例えば、ある教材に関するお知らせを一斉メールで送付する時、受講クラスごとに変更する部分があり複雑な作業です。そして教材データをウェブサイトに取り込む作業があります。

これは、学生とのコミュニケーションを重要視するため、困難な業務であると考えます。各学生に適正な許可を出して、学習プロセスに関する全てを学生が理解できるようにするのです。



インターンシップについて

学士課程によって、心理・教育学部のようにインターンシップを卒業条件としている学士課程があり、学生はオンラインまたは現場での職業インターンを経験します。また、人文学部やコンピュータサイエンス学部の学士課程のように、インターンシップを必須としないものもあります。

学生と企業のマッチングは、各学部とアカデミックサービス課が協力して実施しています。心理・教育学部では、学部が学生のインターン先を探し、インターン先のチューターとの同意を得る業務を行っています。企業内のチューターは、学生がインターンで学ぶことを支え、時には助言してくれるのです。アカデミックサービス課はインターン制度の運営全般について担当し、コースインストラクターは、インターン先がその学生に適切かどうかを考えます。

インターンシップ先の選択は各学生によって行われますが、学生はそれまでに受講コースの教員と話し合い、インターンシップの目的等をもとに候補先を絞り決めます。インターンシップ先の企業等には、学生が自らコンタクトを取り、同意を取り付けることとしています。受け入れた企業等の中には、学生インターンシップの有効性を認知し、その後積極的にインターンを受け入れるところがあります。17,000名もの学生のためにインターンシップ先を探すことは非常に困難であり、このような企業との良い関係がUOCを助けてくれるのです。

インターンシップ受け入れ企業のリストはアカデミックサービス課が作成・更新し、また、リスト外の企業にもインターンシップ受け入れを打診し、受け入れ企業の増加を図っています。

ほとんどの学生は、既に仕事を持っていますが、学生の勤務先をインターンシップ先とすることも受け入れ先の許可が下りれば可能です。受け入れ企業も学生もお互い、インターンシップから得られるものがあり、時にはライバル会社の情報をインターンから得ようとすることもあるでしょう。実際、インターン終了後にライバル会社に転職する学生もいるのです。

コースインストラクターについて

各コースのインストラクターは、担当教員（コーディネーター役）によって選ばれます。教員がインストラクターに提供する情報は、コースの中身に関するものもありますが、例えば全てのインストラクターにとって重要な締め切り日等、より組織や制度に関するものが多くなっています。彼らのスケジュールは、属する学部からリマインドされ、例えば最終試験がいつどの建物で開催されるといったことが情報提供されます。

これらの全般的な情報提供もアカデミックサービス課で担当し、同様の業務がチューターに向けても行われています。教員（コーディネーター）とコースインストラクターの連絡事項は、主にコースの学術的内容や学生からの質問等についてです。教員はアカデミックサービス課と共に同じスケジュールで業務を進めていて、時々お互いのミスを防ぐために提案や指摘をすることもあります。特に最終評価については、他の部局との協力が必要なため、締め切り日は厳守なのです。

一方で、在籍生には、全ての受講コースのスケジュールが表示され、月ごとの予定が明確に示されます。それは、学生の多くがフルタイムの職を持ち、家庭には子供がいたりして、学生達はしっかりと時間を管理しなければならない状況にあるためです。特に、複数の科目

を受講する場合は、やり繰りが大変です。重要な日にはシラバスに含まれ、締め切り等を常に確認できるようにしています。学生は、仕事を問題なく遂行し学習との両立を可能にするためにも、前もって予定を立てることが重要なのです。

障がい学生へのサポートについて

入学の1週間ほど前に、特別なサポートを必要とする学生はリクエストをすることができ、ヘルプサービス係が必要なサポートを提供します。障がい学生への対応を担当する計画・品質課が、学生の障がいについて情報を得て対応することもあります。アカデミックサービス課がコース教員、および障がいのある学生に対して情報共有を図り、学習方法の提案をすることもあります。計画・品質課、アカデミックサービス課、そして担当教員が一緒になり、それぞれの障がいに適した学習方法への提案や問題への対応を行っているのです。

公的証明書を所持した学習障がいのある学生は少数ですが、精神的障害を抱える在學生について対応しています。活動レベルが非常に高い時と低い時のギャップの激しいような不安定な学生もいて、そのような学生については、家族とも話し合いをし、学生のことをよく知った上で、個々の対応を考えることとしています。

話す場面を録画して提出させるような課題を課す科目もあり、その場合は障がいの種類によって対応が異なります。障がい学生には、相談の上リクエストを申請することを勧めていて、実際のサポートの中身は個々の状況に応じて決めることとなっています。

時々、学生に障がいのあることが分からない場合があります。それは大体、本人が障がいについて話したくない場合です。大学への届け出は本人の自由ですが、大学側は障がいについてのサポートができないことになってしまいます。コース開始からかなりの時間が過ぎてから障がいの事実が判明し、不自由な学習を強いられたことに同情してしまう場合もあります。このようなことを避けるため、私たちは、障がいがあるがなかろうが、学生をサポートする姿勢は同じであることを強調しています。

UOCとしては、学生たちに障がいのことを話してほしいと思います。それは、例えば障がいのために学習に制限がかかり、それが成績不良に繋がることもあるからです。私たちがお手伝いするには、必要としている人が誰なのかがわかる必要があるのです。しかし、自身の障がいについて大学側に話すことは自身の選択であり、私たちは強要できません。

障がいのある人は、政府機関に対して障がいの詳細を届け出する必要があり、医者や診断をもとに各者の障がい度が%で示された証明書が発行されます。これはスペイン政府の制度であり、障がいがあるかないかで分けるのではなく、その度合いを示すものです。スペイン国内の様々な場所や制度、公共交通料金、公共住宅、医療サービス等において、この%による優遇措置が適用されています。

例えば、自動車を購入する時にも優遇措置があり、その割引度は障がい度%によって異なります。つまり、障がい度の高い人にはより高い割引が適用されるということです。また多くの企業が障がい者雇用枠を設け、雇用推進を図っています。

精神的な障がいの場合、その証明書発行までのプロセスに長い時間を要します。それは、その症状が本当なのかを見極めるためでもあり、逆に症状が改善した場合、%が変更となり証明書の再発行もあるのです。

授業料等の割引について

エラスムスを含む政府等の奨学金についての情報を更新してバーチャルキャンパスで提供しています。また、授業料等の割引制度も、障がい者、テロリズムや家庭内暴力の被害を受けた家族、そして大家族等を対象にしています。

これらはUOCだけでなく、スペイン全国の大学で行われている割引制度で、子供が2人、3人それ以上の家庭において、収入のレベルにより割引率が変わります。このような割引制度による特定の人々への優遇措置は、小中学校などでもあります。ただし、それらの家族の収入が増加し基準以上になると、優遇措置は取り消されます。あくまでも、収入レベルを基準にした措置なのです。また、オリンピックや国際大会に出場するような優秀なスポーツ選手に対しても授業料優遇措置を設けています。

就職相談について

就職に関する業務を行う部局があり、在学生や卒業生が就職試験を受けたり専門家のアドバイスを受けたりするジョブバンクと呼ばれる制度があります。半年前に能力開発を担当する副学長ポストを新設し、雇用適性に注目しています。UOCには通学生の大学に多い若い年齢層の学生は少ないのですが、就職相談となると既に職を持つ年齢層ではなく、若年層が対象となります。UOCは学生が自分が進みたい道へ進むためのサポートを行い、転職やキャリア変更を後押ししていて、そのための副学長新設なのです。

教員のトレーニングについて

新任のコースインストラクターは、仕事を開始する前の段階で、各コースの担当教員と面談すると同時に、アカデミックサービス課が実施する研修を受け、UOCの規則全般はもちろん、バーチャルキャンパスの運営方法を学びます。担当教員からは、コース内容の詳細が説明され、質の高い学生指導を可能にしています。チューターの雇用については各学部で任されています。副学部長がその任務を担い、面接を含むチューター採用試験は学部で行われます。



5. iLearn (生涯学習の新しい総体的モデルに向けて)

iLearn : towards new holistic model for Lifelong Learning

対応者 : Prof. Jordi Conesa

iLearn は、5 - 2 で説明された LIS 同様、カタルーニャ公開大学の競争的学内助成研究プロジェクトによって 2018 年に始められたプロジェクトである。この学内助成公募プロセスは競争率が高く、大学として戦略的に有用なプロジェクトが優先的に採択されるようであるが、iLearn のような理論的なプロジェクトが助成を受けていることは、この方向性における大学の期待があることが伺える。



カタルーニャ公開大学においては、学内助成金を受けて進められたプロジェクトの進捗状況を 1 プロジェクトにつき 5 分で報告する学内研究集会在年に 1 回開催される。ともすれば学内にいる隣の研究者が何をしているかわからない、という状態に陥りやすい大学という場においては、とても意義のあることであると思われた。

iLearn は、従来、教員・大学側の都合で提供されがちであった教育サービスを、学習者の視点から提供できるよう、根本的に見直しを行おうとするものである。日々進化する情報通信技術 (ICT) や人工知能 (AI) を駆使することで、学習者の嗜好、興味関心、学習動機、能力、学習スタイル、生活スタイル等に合った形で学習が行えるように、教材や学習活動を個別最適化し、学習者が自分に合った形で、もっと気楽に学ぶことができるようにすることが可能となっている。学期といった決められた期間で学習が開始して終了するのではなく、より短い期間で学びたいことを組み立てられるようにするモジュラー化も重要な要素である。また、学科や学部といった分野にとらわれることなく、学びたいことを分野横断的に学ぶことも、個別最適化学習には重要な要素である。大学の教育サービスを、高校卒業後 4 年間に限定するのではなく、生涯にわたって提供することも、カタルーニャ公開大学や放送大学といった遠隔高等教育機関の重要な役割になると考えられる。

学習の内容、時間、場所、方法などを選択できる仕組みを構築し、学習者が学びたいと思う気持ちを維持できるように仕向けることは、今後の変化の激しい社会に生き延びる人材を育てるには、必須のことにように思われる。しかしながら、それを実現しようとすると、様々な障害があることが考えられる。個別最適化することは、現代の技術ではそれほど難しいことではないが、そのためには、大学といった組織のビジネスモデルや組織モデルを再考しなければならない。



この研究プロジェクトでは、2年といった限られた期間で、上述した方向性を議論して、実現するための組織的・政策的・文化的課題を認識することで、教育サービスを提供する側として前進するためのステップを模索することにあると考えられる。研究チームメンバーも11名と、少なくない。また、このような理論的な研究プロジェクトに対して、教員のリリースタイムという形で大学が助成するというのも、今

後考えるべき方向性であろう。教員に研究助成金を出したところで、教員がその研究ではなく、日々の業務に追われてしまっているのは、助成金が不必要な物品購入などに使われかねないからである。

Do you think we are using a student-centered approach for lifelong learning (LLL)?

1

A hypothetical case: Neus and her context



- Neus
- Woman
- 40 years old
- With a little kid (4 years)
- Works in a building company
 - Finances
 - Accountability
 - Social media
- Loves to learn new things
- Hobbies:
 - Dietetics
 - Nutrition
 - Motherhood
 - Travelling

2

A hypothetical case: Neus and her learning needs



- Interested in learning for work and promotion
 - Finances topics
 - Accountability topics
 - Communication topics
- Interested in learning for leisure
 - Dietetics and Nutrition
 - Travelling and History
 - Pediatrics and Psychology
- Interested in learning for self-management
- Interested in lifelong learning (for ever)
- She is very aware of what to learn
- She has time constraints:
 - Not continuous availability (taxes, family issues...)
 - Prefer short courses
 - Overload months → incompatible with regular semesters

3

UOC R&I IN3 Internet Interdisciplinary Institute research.uoc.edu

The gap between students' necessities and our offer

<ol style="list-style-type: none"> 1. Requires full dedication during a long period (semester). 2. Schedule is planned by the university 3. Schedule is fixed (does not allow disconnection). 4. Offers a generic program created for a community. 5. Programs are within a discipline. 6. Take into account students expertise to convalidate subjects. 7. Has an business model focused to cover university costs and resources used. 8. ... 	≠	<ol style="list-style-type: none"> 1. Does not have fully dedication 1. May have some schedule preferences 2. May have periods of unavailability 1. Does have personal needs of competencies / knowledge 2. Does have multidisciplinary necessities 3. Has very extensive expertise in different aspects, maybe not broad. 4. Is used to subscription, with continuous payment for continuous services 1. ...
--	---	---

UOC R&I IN3 Internet Interdisciplinary Institute research.uoc.edu

Do you think we are using a student-centered approach for lifelong learning?

NO

UOC R&I IN3 Internet Interdisciplinary Institute research.uoc.edu

iLearn (Xtrem 2018)

Team: Josep Maria Batalla, David Bañeres, Carme Carrion, Jordi Conesa, Montserrat Garcia, Beni Gómez-Zúñiga, María Jesús Martínez, Xavier Mas, Tona Monjo, Enric Mor, Maria del Carmen Cruz i Israel Conejero.

Goal: to propose, design, implement and test a new learning model that promotes lifelong and lifewide learning of students without restrictions.

Summary: Lifelong/lifewide learning in higher education is usually constrained by artificial barriers (deadlines, mandatory subjects, inflexibility, long courses, time-restricted programs, etc.). However, lifelong learning should be more flexible and personalized. Students should be able to choose what they want to learn, how, when, in what order and at what pace. Our project explores how such a model can be implemented in a virtual university. To do so, the problem will be addressed from different perspectives: organizational, economical, pedagogical, user-centered and psychological. We will also address the characteristics the information system supporting that model should have.

End date: 2020, October.

How do we imagine our LLL model?

- The materials should be **digital**, very **modular** and with a very **small granularity**.
- **Courses** should be modular
 - With a **very small granularity** (few hours or a week at most).
 - **Address just one challenge**.
 - **Very interrelated**.
 - Group to **compose bigger courses** (and **more complex challenges**).
 - Different courses **sharing the same challenge** are advisable.
- **Student experience** should be
 - **integral** (taking into account user experience, pedagogical and psychological issues)
 - **dynamic** (able to stop, resume and move to another topic whenever and however they want)
 - **personalized** (able to choose what to do, for how long, in what order, at what pace, etc.)
 - **tutored** (with educators for each course and a mentor who accompanies student during her learning experience)
- **Organization** should be adapted by
 - a **business model** to provide sustainability,
 - an **organizational model** to provide scalability,
 - a **knowledge management system** to explicit the information about the courses their inter-relations,
 - provide **high-levels of automatization** to allow instructors to focus in the relevant tasks.
- An **accreditation system** that allows students to share the knowledge, skills and competence acquired.



What have we done (and still doing)?

- Address the problem from an holistic perspective
 - a. pedagogical models (andragogy and heutagogy basically),
 - b. business models (subscription but also other existent models),
 - c. informational models (graph representation, navigation, etc.),
 - d. motivational models (mainly technology persuasion), and
 - e. technological models (badges, gamification, analytics, etc.).
- Taking into account scientific evidence,
- We are just finishing the co-creation workshops,
- Thereafter:
 - a. Materials and courses will be created,
 - b. Concept test will be performed with real students and teachers,
 - c. Validation will be done using a quali-quantitative methodology, and
 - d. The model will be adapted after test and shared (October 2020).

おわりに

スペインには、1972年に設立された国立遠隔教育大学の UNED がある。1990年代初頭に、カタルーニャ語によるカタルーニャ住民のための遠隔教育の提供を UNED に要請したカタルーニャ自治政府であったが、実現しなかったため、オンライン上のみで教育サービスを提供するカタルーニャ公開大学を 1994年に設立し、1995年から学習募集を行った。当時は、スペインにおいても、インターネットがようやく一般家庭に普及しだした頃であり、オンラインのみで教育サービスを提供する大学を考案したこと自体、大変画期的なことであった。また、教育モデルも、本学の放送授業のような教員の講義による教育ではなく、設立当初から学生と講師とのインタラクションで成り立っていたことも特筆に値する。

カタルーニャ公開大学も設立からはや 25年が経ち、その画期的な教育モデルで世界中に名を知られる大学となった。当初のカタルーニャ語のみならず、スペイン語や英語で様々な科目を提供している。プログラムには、サーティフィケートといった学位ではない修了証書を出すものから、学士・修士・博士課程のものまで、高等教育の全ての範囲をまたぐものである。とはいっても、カタルーニャ住民のためにカタルーニャ語で高等教育を提供するという当初のミッションは維持されており、学生の 7割以上がカタルーニャ住民である。

カタルーニャ公開大学の教育モデルは、学生の学習活動を中心に設計されている。講師は 1クラス 20名ほどのバーチャルクラスを担当する。講義ビデオはほとんどなく、学生は講師の指導のもとに、クラスの仲間と非同期のディスカッションをしながら、一緒に学習を進めていく。このシステムは、カタルーニャ公開大学の設立当初に独自開発されたものであり、幾度かの改善・改修を経て、現在のものに至っている。

講師は外部から雇われた非常勤がほとんどである。専任教員は、バーチャルクラスを進行していく上での教材の設計・制作・選択や、学習活動の設計を行う。講師を見つけて依頼し、管理することも専任教員の役割である。また、学生一人一人に対して担当のチューターがおり、入学から卒業まで授業外の学生生活における相談役を担っている。このように、教材制作・実際の授業進行・成績評価・授業外の学生のアドバイス等、役割ごとに分業化されているが、その中で関係者同士のコミュニケーションが円滑に図れるように学内の情報共有システムが確立しているところも、カタルーニャ公開大学の優れているところである。

今回、協定校の調査として訪問したカタルーニャ公開大学であるが、訪問日の翌日が万聖節というキリスト教の祝日であった。年に一度の特別な日で閉まっている店舗等が多かったが、その中で、カタルーニャ独立の旗を掲げる家の窓が目立った。カタルーニャ住民に広く高等教育を提供するミッションを掲げて始まったカタルーニャ公開大学が、今後、どのようにそのミッションとグローバル化の戦略を両立していくのか、本学の方向性とも重なって、今後も見守っていききたい。

(文責：青木久美子)

資料

- 放送大学調査団の訪問スケジュール
- 顔認識システムを活用したオンライン最終評価試験の受験マニュアル（概要）
- 一般事項比較表

資料：放送大学調査団の訪問スケジュール

2019年10月29日（火）

日時	活動内容	場所
AM	UOC 施設の視察	Tuset ビル他
15:00 - 18:00	現代言語センター大槻教授との面談	UOC Tibidabo 本部

2019年10月30日（水）

日時	活動内容	場所
10:00 - 10:45	Dean of CS, Daniel Riera & Prof. Anna Guerrero によるプレゼンテーション - UOC の概要	22@ビル
10:45 - 11:45	Prof. David Bañeres & Dr. Abdul Kadir Karadeniz によるプレゼンテーション - 学習チュータリングシステム (New Goals LIS Project)	同上
11:45 - 12:45	Ms. Maria Taulats & Ms. Maria Galofre によるプレゼンテーション - UOC の教育の質保証	同上
13:30 - 15:30	昼食	
15:30 - 16:30	Ms. Alejandra Bausa Carmona によるプレゼンテーション - アカデミックサービス課の業務	22@ビル
16:30 - 17:30	Prof. Jordi Conesa によるプレゼンテーション - iLearn (生涯学習の新しい総体的モデルに向けて)	同上

資料：顔認識システムを活用した オンライン最終評価試験の受験マニュアル（概要）

最終評価試験の ID 確認システムについて

オンラインの最終評価試験を受験する海外在住の学生は、顔認識に基づいた ID 確認システムを使用する必要があります。このシステムでは、試験中にデスクトップまたはラップトップコンピュータのウェブカメラから画像をランダムに送信します。

これにより、コースを受講して評価を受けた方があなたであることが証明されます。UOC コースの質と透明性が一層保証されるため、受けた教育の価値が高まるのです。

オンライン試験の受験には、写真、および身分証明書による登録が必要で、登録なしではオンライン試験を受けることができません。登録は、オンライン試験の受験申請が受理された後、試験の受理通知とともに送付される指示に従って一度だけ行います。

顔認識システムへの登録

① 登録前の留意事項

- 本システムは、Windows、Linux、または Mac オペレーティングシステムで実行されているデバイスと互換性があります。推奨しているブラウザは Google Chrome です。
- 本システムは、カメラを搭載したデスクトップまたはラップトップコンピュータ上でのみ使用できます。
- カメラを使用した動作テストを実行できます。自分が映っていない場合は、ウェブカメラを使用しているアプリケーション（Skype、Hangout、WebEx など）をすべて閉じて、コンピュータを再起動して再度ログインしてください。
- 照明が適切であることを確認し、帽子、スカーフなど識別が困難となるようなものを着用しないでください。
- 写真に他の人が映り込まないようにしてください。
- 普段眼鏡を使用し受験に眼鏡が必要な場合は、登録用に撮影した少なくとも 2 枚の写真で、眼鏡を着用している必要があります。

② 受験者の顔を登録する

- 顔を識別させるには、「手順」→「評価と最終評価試験」→「バーチャル最終試験」→「バーチャル試験を受験するための申請」→「ID 認識動作確認テスト」へ進みます。
- 次に、条件に同意をして、アプリケーションへのリンクをクリックします（新規ウィンドウが開きます）。
- 顔を識別させるには、このダイアログボックスで許可をクリックして、システムがカメラにアクセスできるようにします。

③ ウェブカメラの使用を確認する

- カメラへのアクセスを許可すると、あなたの画像がアプリケーションの画面中央に表示されます。
- カメラの動作テストができます。

- ④ 自分の写真を 3 枚撮影して画像を登録する
- ダイアログバーの指示に従い、ボタンを押して自分の写真を 3 枚撮ります。
 - 3 枚の写真を撮影したら、それらが適切に撮影されていることを確認し、OK ボタンを押します。
- ⑤ 登録中の技術的な問題のサポート
- 登録中に技術的な問題が発生した場合は、ヘルプサービスからお問い合わせください。その際は使用しているオペレーティングシステムとブラウザ、問題箇所のスクリーンショットと連絡先電話番号をお送りください。

オンライン最終評価試験の受験

- ① オンライン試験アプリケーションへのアクセス
- 各コースの個人の最終評価試験スケジュールで割り当てられた日時に、「手順」→「評価と最終評価試験」→「バーチャル最終評価試験」→「バーチャル最終評価試験を受験するための申請」→「ID 認識動作確認テスト」→「最終評価試験」と進み、最終評価試験にアクセスできます。
 - アプリケーションにアクセスすると、あなたに割り当てられたコースと時間の画面が表示されます。アプリケーションではスペイン時間を使用しているため、居住国との時差を考慮してください。
- ② 試験の開始（アクティベーション）
- 試験開始時に試験テキストをダウンロードします。完了時に解答を送信すると、送信後の試験を表示するリンクが表示されます。
- ③ テキストをダウンロードする
- テキストをダウンロードすると、あなたの画像が下部フレームに表示されます。テキストは、Word または PDF ファイルでダウンロードされますので、ファイルはコンピュータに保存しハードディスクから開きます。
- ④ 試験を受ける
- フレームの中央で十分な明るさの中で自然な姿勢を維持して、他の人が映り込まないようにしてください。識別が難しくなるため、帽子やスカーフは着用しないでください。眼鏡をかけて最初の写真（登録用）を撮影した場合は、ここでも眼鏡をかけてください。
 - 解答を始める前に、情報シートを注意深く読んでください。「コンピュータで受験」か「紙に筆記して受験」を選べます。紙に筆記する場合は、全ページをまとめてスキャンし、それらが正しく読み取られていることを確認して、一つのファイルとして添付してください。
 - テキストが PDF 形式の場合、別のドキュメントで解答できます。
- ⑤ 試験を送信する
- 最終評価試験の終了時間までに、試験の送信オプションをクリックし、試験ファイルを送信してください。この手順は、電子メールにファイルを添付することと似ています。
 - システムでは、DOC、DOCX、または PDF 形式のファイルのみ添付できます。
 - 参照オプションを使用して、ハードディスクから完了した最終評価試験のファイルを探し選択します。選択したら OK をクリックして送信します。
 - テストの表示ボタンを使用して、試験が送信されたこと、コースも正しいことを確認してください。ファイルが正しく送信された場合、送信済が表示されます。

⑥ 試験を表示する

- 解答を送信すると、試験をコンピュータにダウンロードした時刻と送信した時刻の記録が残されます。システムでは、解答がアップロードされたことを確認するメッセージは送信しませんが、試験の表示からそれを確認できます。
- 各コースで、受験した正しいファイルが送信されたことを確認してください。試験完了期限になると、「テキストのダウンロード」、および「試験の送信」リンクが無効となることに注意してください。

技術的要件

ID 確認付きのオンライン試験を受けるため、デスクトップまたはラップトップコンピュータ、ウェブカメラ、そしてインターネット高速回線が必要となります。

① オペレーティングシステム

- Windows：7、8、8.1、および10
- Mac OS：OS X 10.11「El Capitan」、10.12「Sierra」、および10.13「High Sierra」
- Linux：多種多様が利用可能です。

② ブラウザー

オンライン試験では Google Chrome または Firefox の最新バージョンの使用を推奨します。他のブラウザを使用する場合は、Adobe Flash Player のインストールと更新が必要となる場合があります。

資料：一般事項比較表

大学名 (英語名)	放送大学 The Open University of Japan	カタルーニャ公開大学 Universitat Oberta de Catalunya
設立	1983年	1994年
在籍学生数	86,372名 2019年度第2学期 (うち全科履修生 56,353名、65.2%)	63,007名 2017/18年度 (うち学士課程 37,158名、59.0%)
教職員数(非正規含む) (2019年4月)	3,368名	5,353名
予算(年度)	約143億4600万円(2019)	円換算値：約133億6830万円(2018) (1ユーロ=123円で計算)
授業料 (典型的な学士号取得)	約71万円	240単位課程：125万円前後 180単位課程：94万円前後
本部所在地	首都圏(千葉県)	カタルーニャ自治州(バルセロナ)
本部以外の施設	学習センター 50 サテライトスペース 7	地域センター 14 UOCポイント 42
出願要件	(学士) 高校卒業か同等以上の学力 (修士) 学士号取得か同等以上の学力 (博士) 修士号取得か同等以上の学力 (科目受講) 15才以上	(学士) 大学入試試験 PAU 受験者、 UOC入試(25才以上卒・ 45才以上卒) (修士) 学士号以上の取得 (博士) 修士号以上の取得 (科目受講) 科目により異なる
入学時期	(学士) 年2回(4月・10月) (修士、博士) 4月 (科目受講) 年2回(4月・10月)	(学士、修士、博士) 年2回(9~10月・2~3月) 他は科目により異なる
利用メディア	TV、ラジオ、インターネット、 CD、DVD	インターネット
学生サポート施設	学習センター、学生サポートセンター、障がいに関する学生支援相談室、ハラスメント相談窓口等	地域センター、UOCポイント、アカデミックサービス課(障がい学生対応含む)
プログラム、および 科目(コース)数 (2019年)	放送授業：学部286科目、院58科目 オンライン授業：学部23科目、 院25科目	(学位) 学部25、院81プログラム、 (証明書) 生涯・職業学習610コース 他にも多様なコースあり
面接授業 (2019年)	各学習センター、サテライトスペースで 3,050科目実施	実施なし
単位認定試験会場	学習センター等	試験センター (全国約20か所の協力機関)、 海外居住者等はオンラインで受験
単位認定試験時期	年2回固定 (7月下旬～、1月下旬～)	年2回固定 (6月、および1月)
図書館の蔵書 (2018/2019年)	・本部図書館 約35万冊 ・Eブック 約7.5万タイトル	・Eジャーナル 約14.4万 ・Eブック 約2.3万タイトル ・本(冊子) 約3.5万タイトル 他

編集・著作

放送大学

総務部総務課 国際連携係

〒261-8586 千葉県美浜区若葉 2-11

Tel : 043-276-5111

E-mail : kokusai@ouj.ac.jp

URL : <https://www.ouj.ac.jp/>

報告書発行

2020年3月



Universitat
Oberta
de Catalunya